

人権問題に関する市民意識調査結果について

1. 調査目的 この調査は、平成19年度に策定し、平成24年度第一次改定を行った「出雲市人権施策推進基本方針」について、平成29年度に見直しするにあたり、市民の人権に関する意識の現状を把握し、今後の出雲市における人権に関する施策を充実発展させ、人権教育啓発の取組をより総合的・効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的に行う。
- ※前回の意識調査は平成23年度に実施

2. 調査方法

- ①調査期間 平成28年10月1日～10月25日
- ②調査対象 出雲市に住民登録をしている18歳以上の市民
- ③対象者数 3,500人
- ④抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- ⑤抽出条件 地区・性別・年齢とも人口比率に合致するように抽出
ただし同一世帯からは一人のみ
- ⑥調査手段 郵送法

3. 回収状況

	今 回	前回(平成23年度)
対象者数	3,500	3,000
実質調査対象者数	3,436	2,991
回収数	1,246	1,120
回収率	36.3%	37.4%

4. 調査結果の概要

【総論】

- 人権問題の中で、障がいのある人に関する問題、プライバシー保護に関する問題、インターネットによる問題に対する関心が高い。また、前回調査に比べ特にインターネット、プライバシーに関する問題への関心が高くなっている。
- 同和問題やその他の人権問題について知りたいこととして、特に「同和地区の差別の現状」、「きつねもちなどの迷信差別の歴史や起源」の割合が前回調査に比べ増加している。

【同和問題】

- 仮に自分の子どもの結婚相手が同和地区の人であるとわかった場合、約65%が賛成するとしている。また、仮に自分が同和地区の人と結婚しようとしたとき親や親戚から反対された場合、約75%が意思を貫いて結婚するとしている。
- 同和問題の解決に向けた考え方として、「自分の問題として解決に努力すべき」という回答の割合が前回調査から大きく増加している。
- 同和問題の解決のためにどうすべきかという問いに対し、前回調査で最も多かった「そっとしておけばなくなる」という回答が減少し、「教育・啓発を積極的に進める」が大きく増加している。

【その他の人権問題】

- 子どもの人権について問題だと思う項目について、「インターネットの書き込みやメールによる嫌がらせ」の割合が高い。
- 高齢者の人権について問題だと思う項目について、「悪徳商法などの被害者になりやすいこと」の割合が高い。
- 障がいのある人の人権について問題だと思う項目について、「障がいのある人に関する人々の認識が十分でないこと」の割合が高い。また障がいのある人の人権を守るために必要だと思う項目について、「学校における特別支援教育を充実させる」が前回調査に比べ増加している。
- 日本で生活する外国人の人権を守るために必要なこととして、「日常生活に必要な情報をそれぞれの母国語で提供する」「学校教育における在住外国人児童、生徒に対する支援を行う」が前回調査に比べ増加している。
- インターネットによる人権侵害について問題だと思う項目について、「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」「子どもたちの間でインターネットを利用したいじめ問題が発生していること」が前回調査に比べ大きく増加している。

【風習・習慣】

- 「ひのえうま」「きつねもち」の理由で結婚を反対することについて、「間違っていると思う」という回答が半数以上となっている一方で、「聞いたことがない・知らない」という回答が約30パーセントとなっている。
- 「結婚式は大安の日を選ぶ」「葬式は友引の日を避ける」について、いずれも「当然のことと思う」「自分だけ反対しても仕方がない」という容認的な回答が約70%となっている。

人権問題に関する市民意識 調査結果について（概要）

平成28年10月調査
総務部 人権同和政策課

目 次

1. 調査の概要	3
2. 調査結果の概要	
I. 人権の知識・認識	5
II. 同和問題について	12
III. 女性の人権について	26
IV. 子どもの人権について	28
V. 高齢者の人権について	30
VI. 障がいのある人の人権について	32
VII. 外国人の人権について	34
VIII. 患者の人権について	35
IX. 犯罪被害者とその家族の人権について	38
X. 刑を終えて出所して人の人権について	39
XI. インターネットによる人権侵害について	40
XII. 性同一性障がい者の人権について	41
XIII. 風習・習慣に関する意識	42
XIV. 人権が尊重される社会に向けての取組について	47

1. 調査の概要

(1) 調査名称 人権問題に関する市民意識調査

(2) 調査目的

このアンケート調査は、平成 19 年度に策定した「出雲市人権施策推進基本方針」(平成 24 年度改定)を平成 29 年度に見直しするにあたり、市民の人権に関する意識の現状を把握し、今後の出雲市における人権に関する施策を充実発展させ、人権教育・啓発の取組をより総合的・効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的に行う。

(3) 実施主体 出雲市

(4) 調査方法

① 調査対象 出雲市に住民登録をしている 18 歳以上 (7 月 31 日現在) の市民

② 対象者数 3, 500 人

③ 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出

④ 抽出条件 地区・性別・年齢とも人口比率に合致するように抽出
ただし同一世帯からは一人のみ

⑤ 調査手段 郵送法

⑥ 調査期間 平成 28 年(2016)10 月 1 日(土)～10 月 25 日(火)

(5) 回収状況

① 対象者数 3, 500

② 不着数等 (*) 64 *抽出から発送までの間の除票者等を含む

③ 実質調査対象者数 3, 436

④ 回収数 1, 246

⑤ 回収率 36.3%

2. 調査結果の概要

■引用した調査結果の概要

<出雲市 平成 23 年度調査>

- ・調査名：「人権問題に関する市民意識調査」
- ・調査時期：平成 23 年 9 月 9 日～9 月 30 日
- ・調査対象：出雲市に住民登録している 20 歳以上の市民 3,000 人（外国人を除く）
- ・抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出
- ・調査手段：郵送法
- ・回収状況：有効標本数 1,120（37.4%）

<島根県 平成 28 年度調査>

- ・調査名：「島根県人権問題県民意識調査」
- ・調査時期：平成 28 年 9 月 23 日～10 月 14 日
- ・調査対象：満 18 歳以上の県内在住者 2,000 人
- ・抽出方法：層化無作為抽出法
- ・調査手段：郵送法
- ・回収状況：有効標本数 1,088（54.4%）

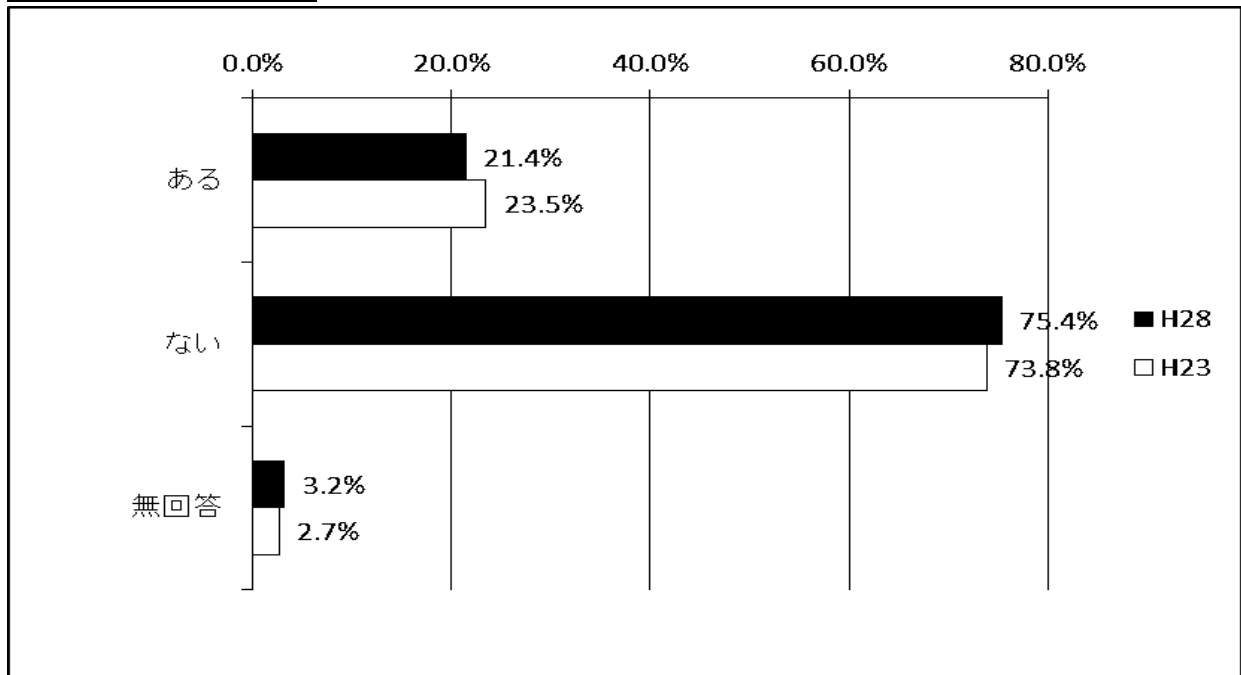
I. 人権の知識・認識

1. 差別や人権侵害を受けた経験

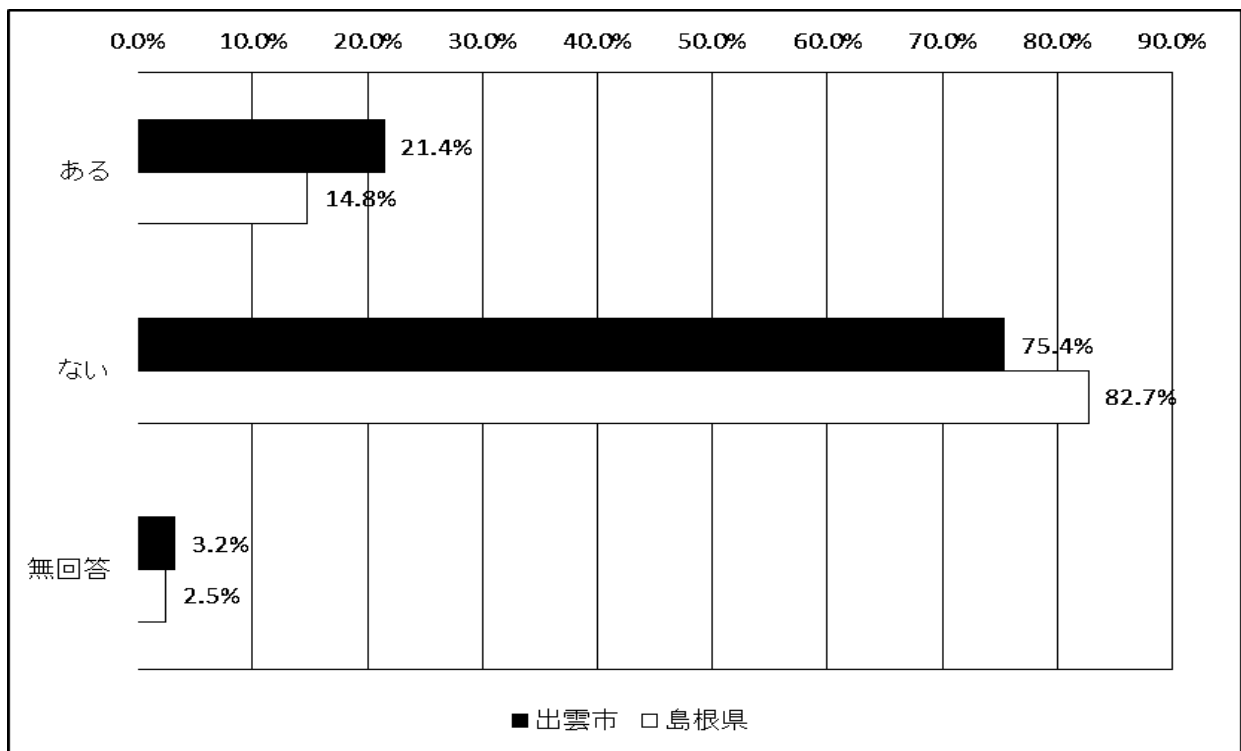
問4 日常生活の中で、あなたご自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。
(〇は1つ)

(総数 1246 人)

平成 23 年度調査との比較



島根県調査(H28)との比較

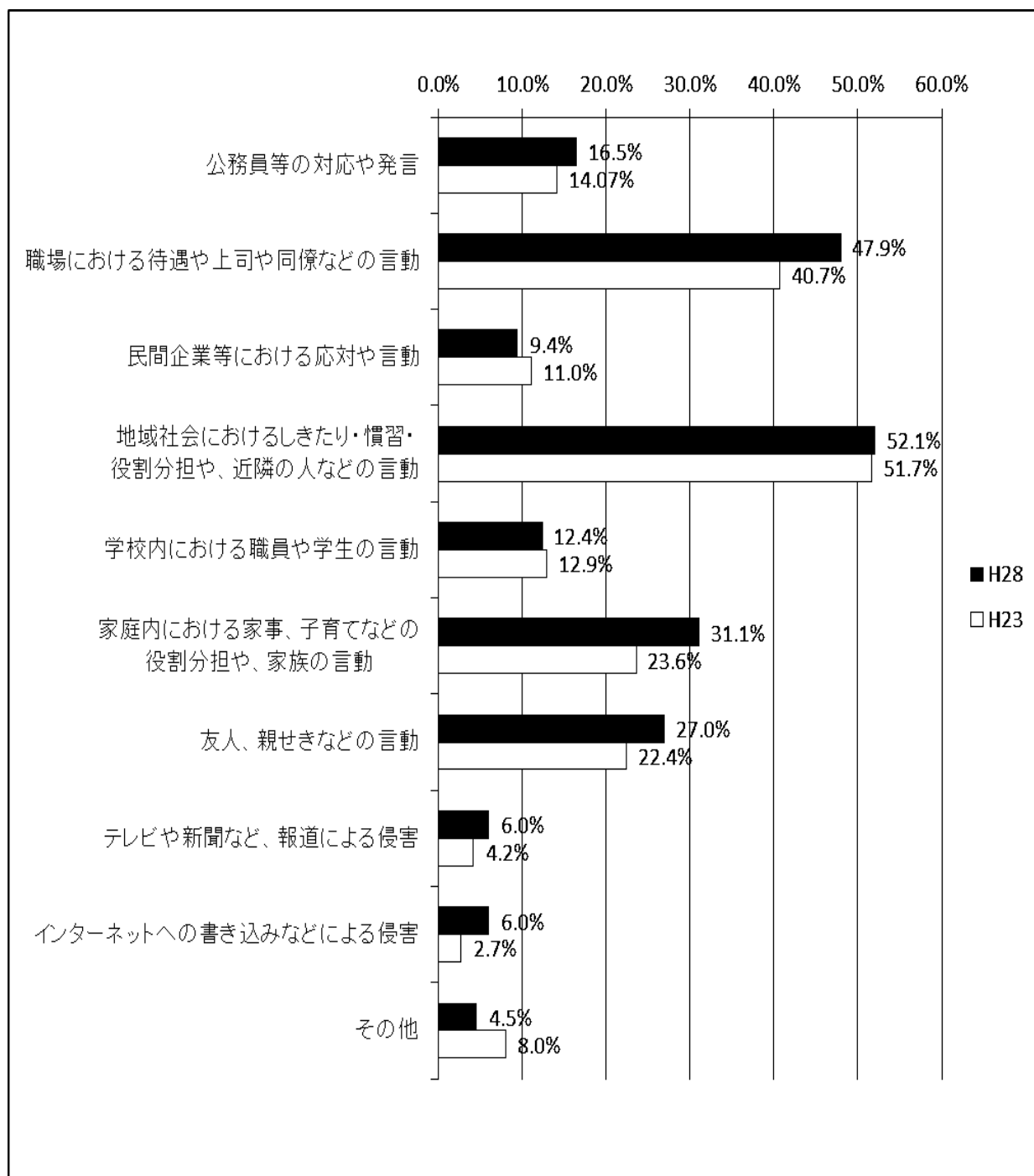


2. 受けた差別や人権侵害の内容

問4で「ある」と回答された方

問4 - 1 差別や人権侵害を受けたと感じたのは、どのようなときですか。(〇はいくつでも)

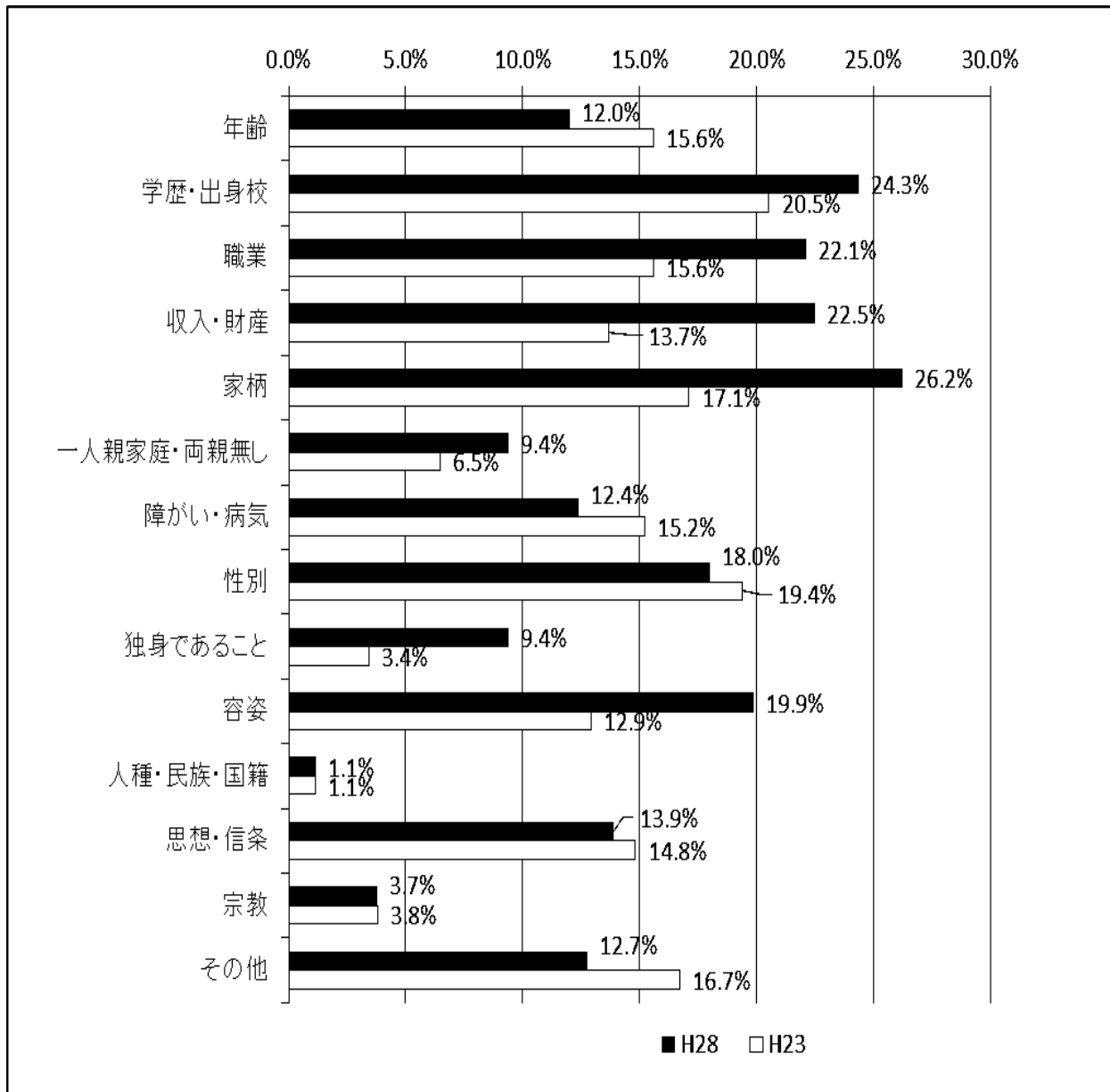
(該当者 267人)



3. 差別を受けた事柄

問4で「ある」と回答された方

問4 - 2 差別や人権侵害等を受けたと感じたのは、どのような事柄ですか。(〇はいくつでも)
(該当者 267人)

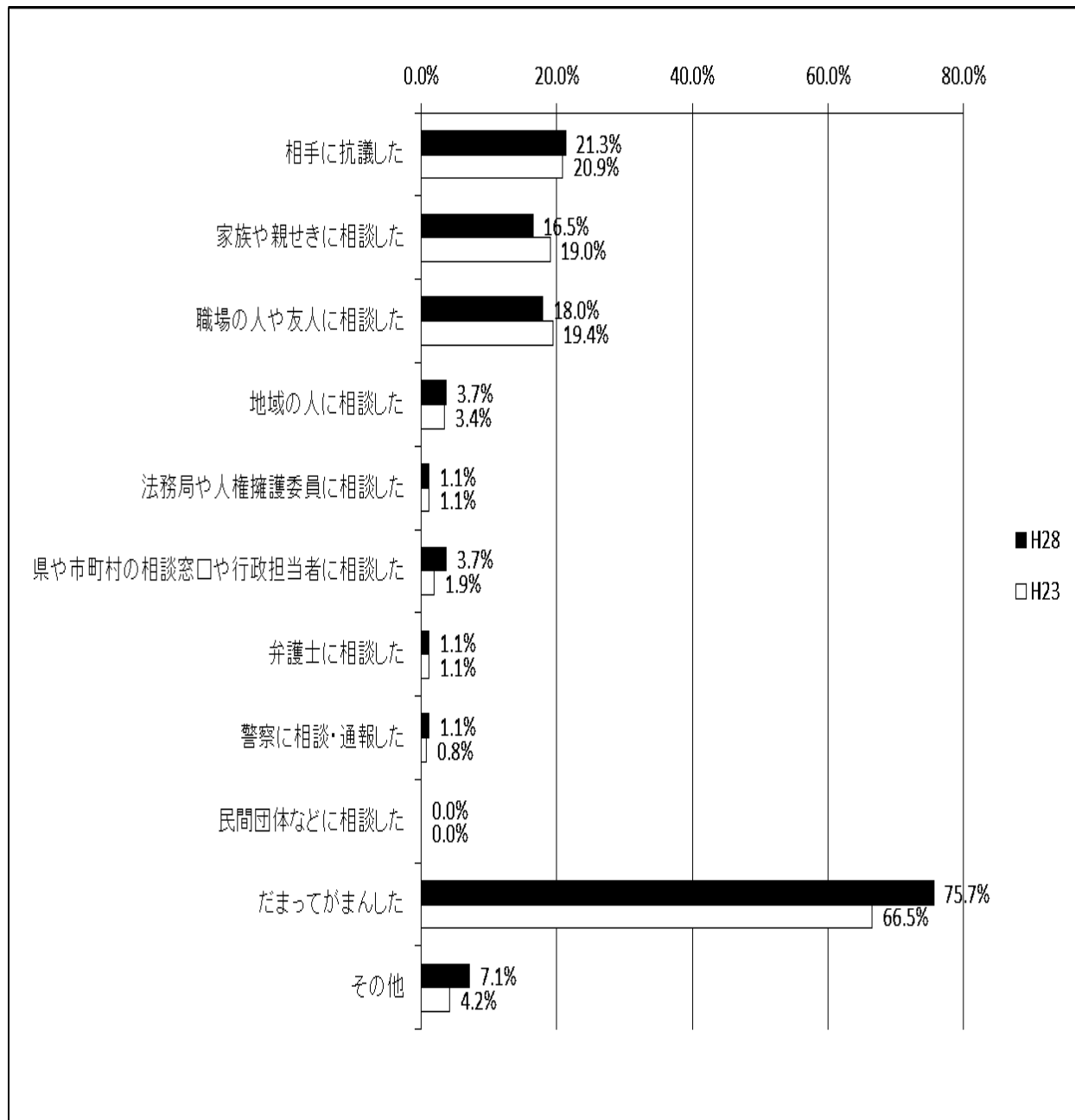


4. 差別や人権侵害を受けたときの対応

問4で「ある」と回答された方

問4 - 3 そのとき、あなたは、どうしましたか。(〇はいくつでも)

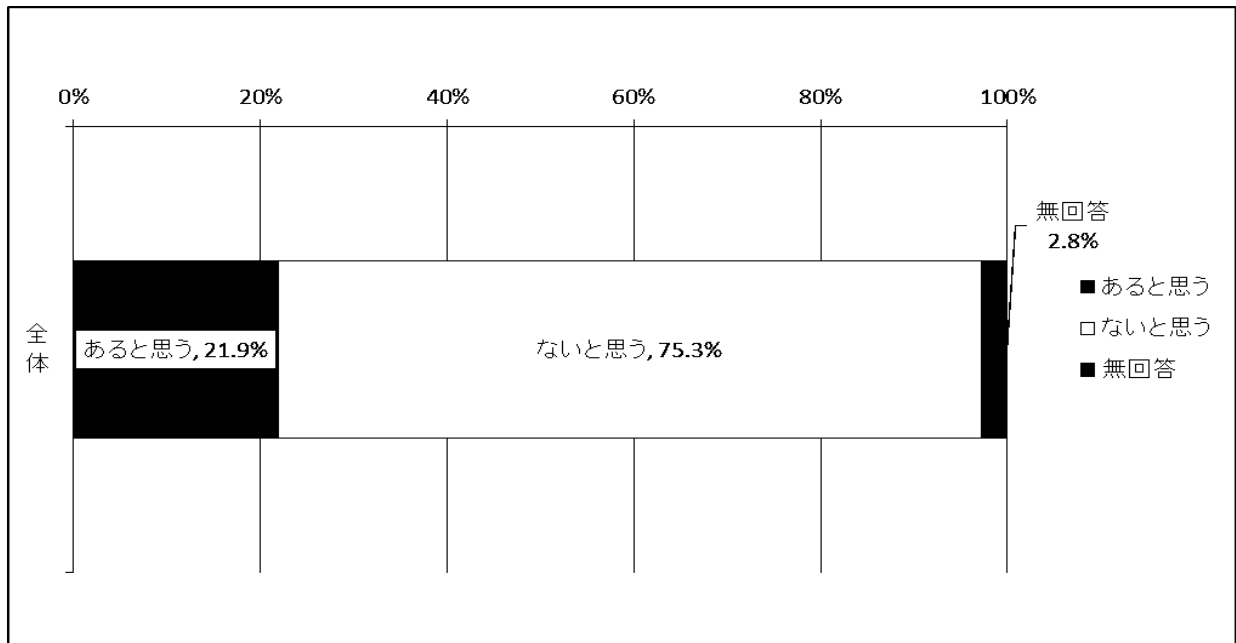
(該当者 267 人)



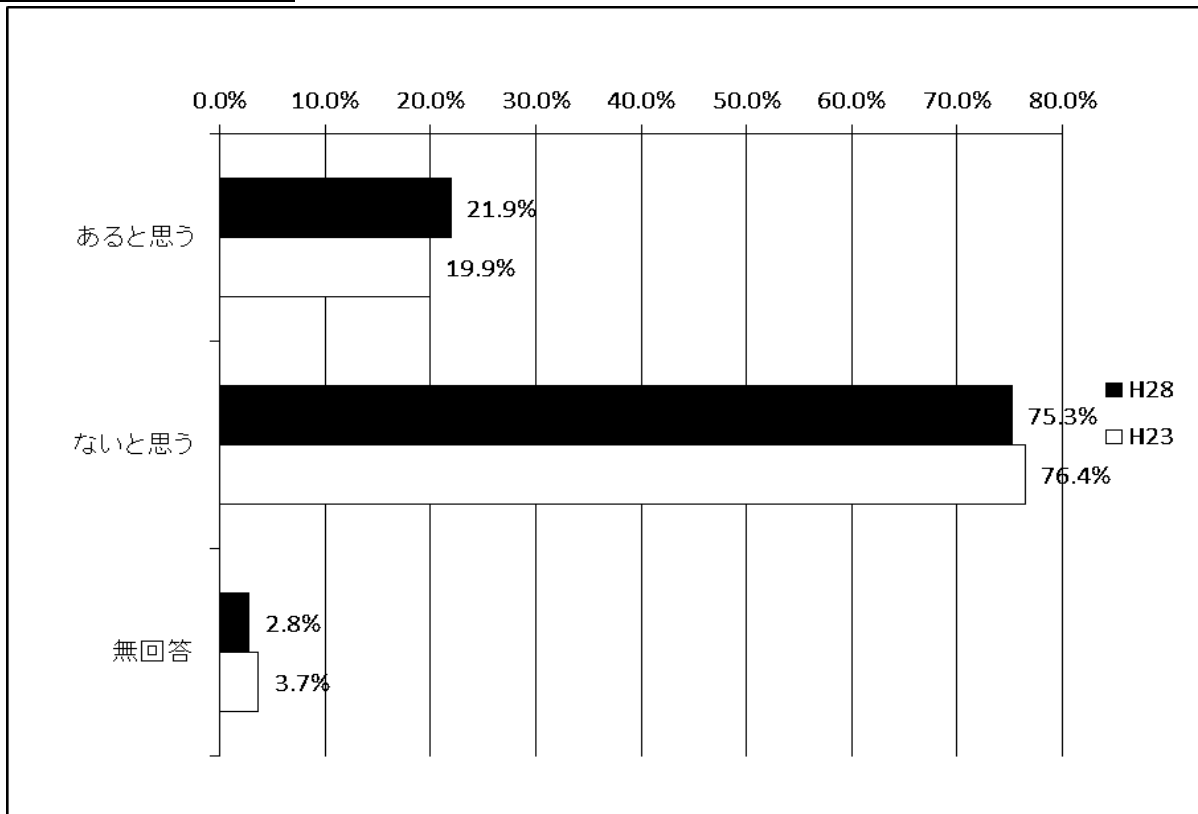
5. 他人の人権を侵害した経験

問5 あなたは、今までに他人の人権を侵害したことはありますか。(○は1つ)

(総数 1246 人)



平成 23 年度調査との比較

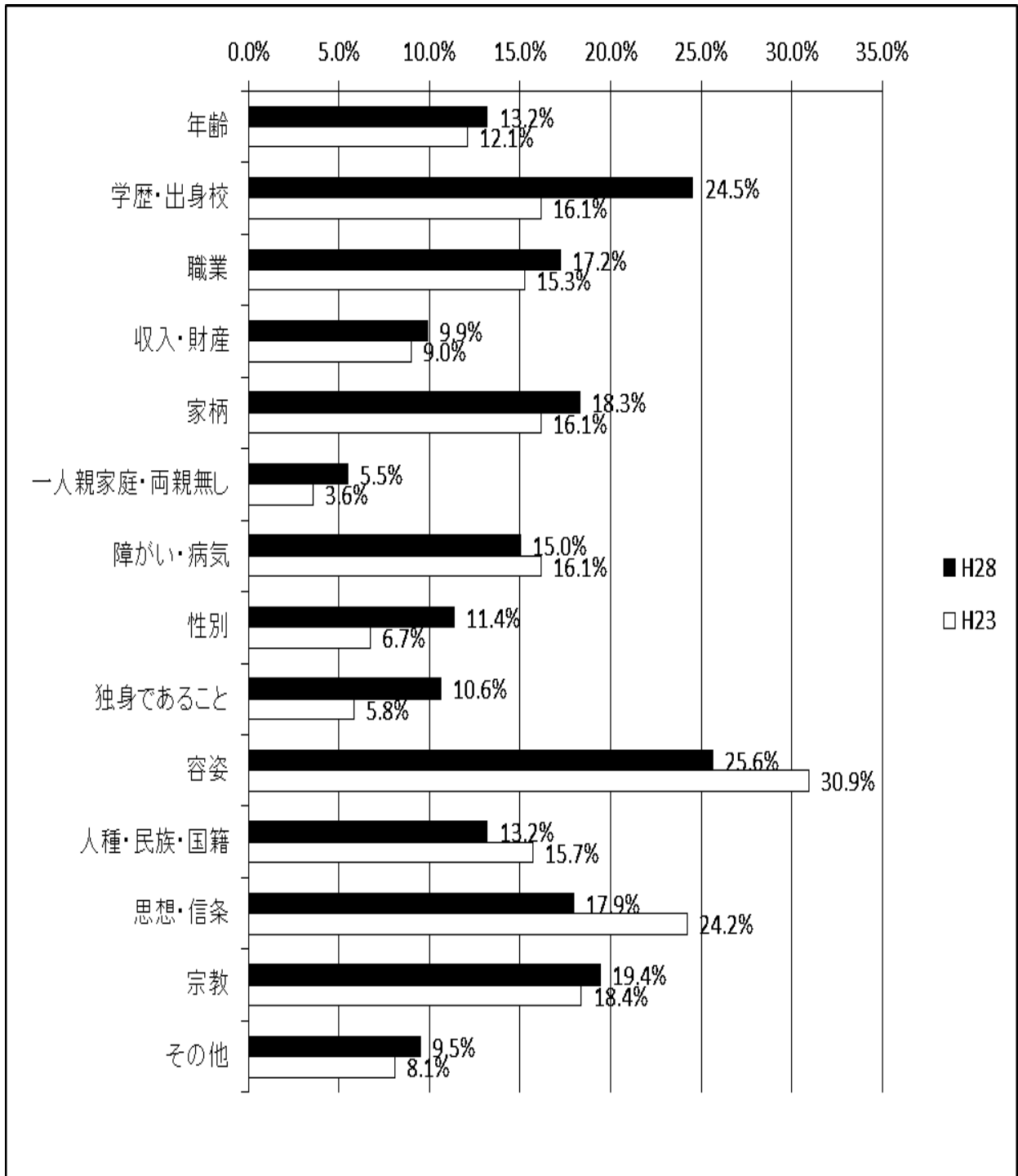


6. 他人の人権を侵害した事柄

問5で「ある」と回答された方

問5 - 1 差別や人権侵害をしたと思ったのは、どのような事柄ですか。(〇はいくつでも)

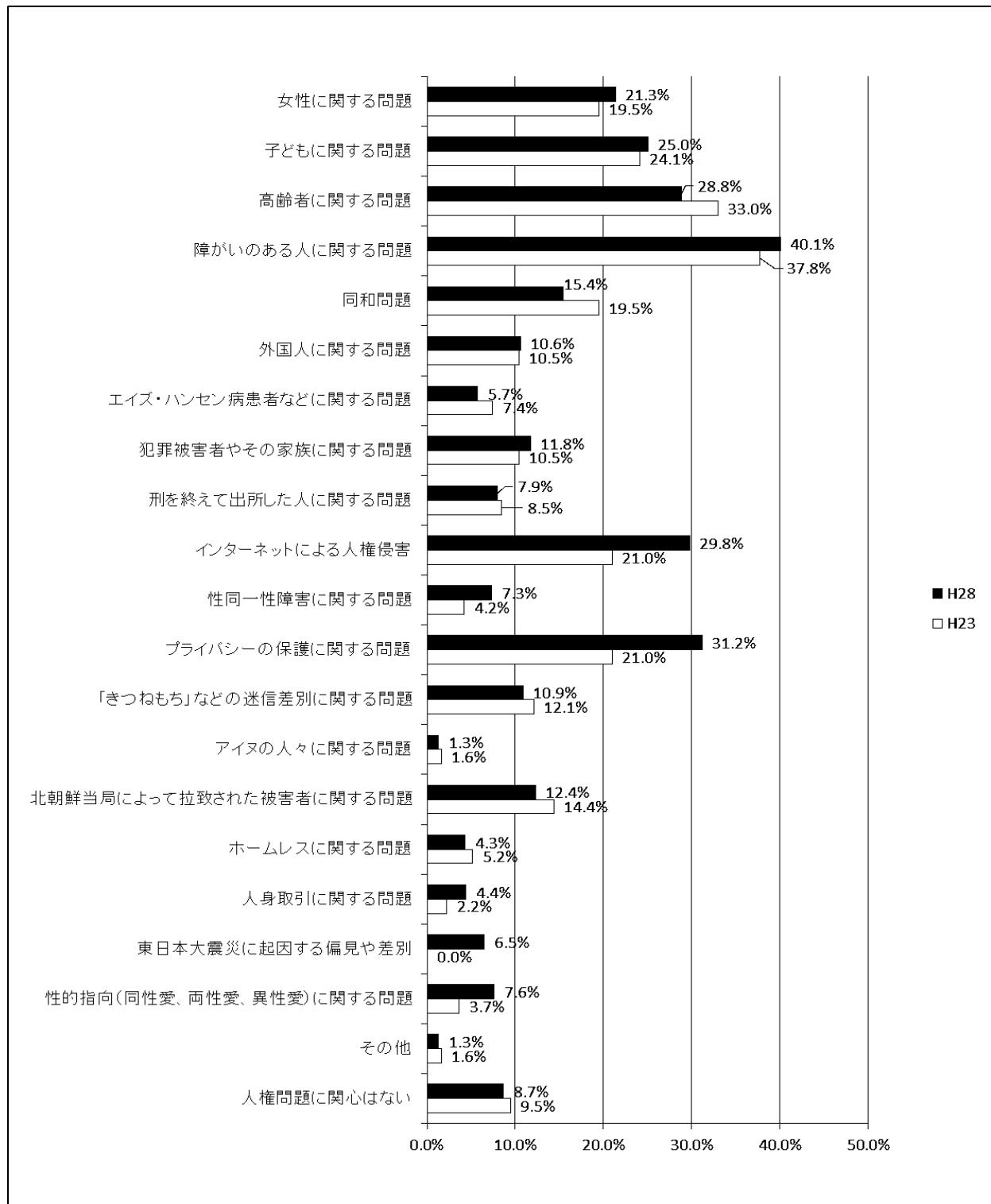
(該当者 273 人)



7. 人権課題への関心

問6 あなたは、現在どんな人権問題に関心を持っていますか。(〇はいくつでも)

(総数 1246 人)

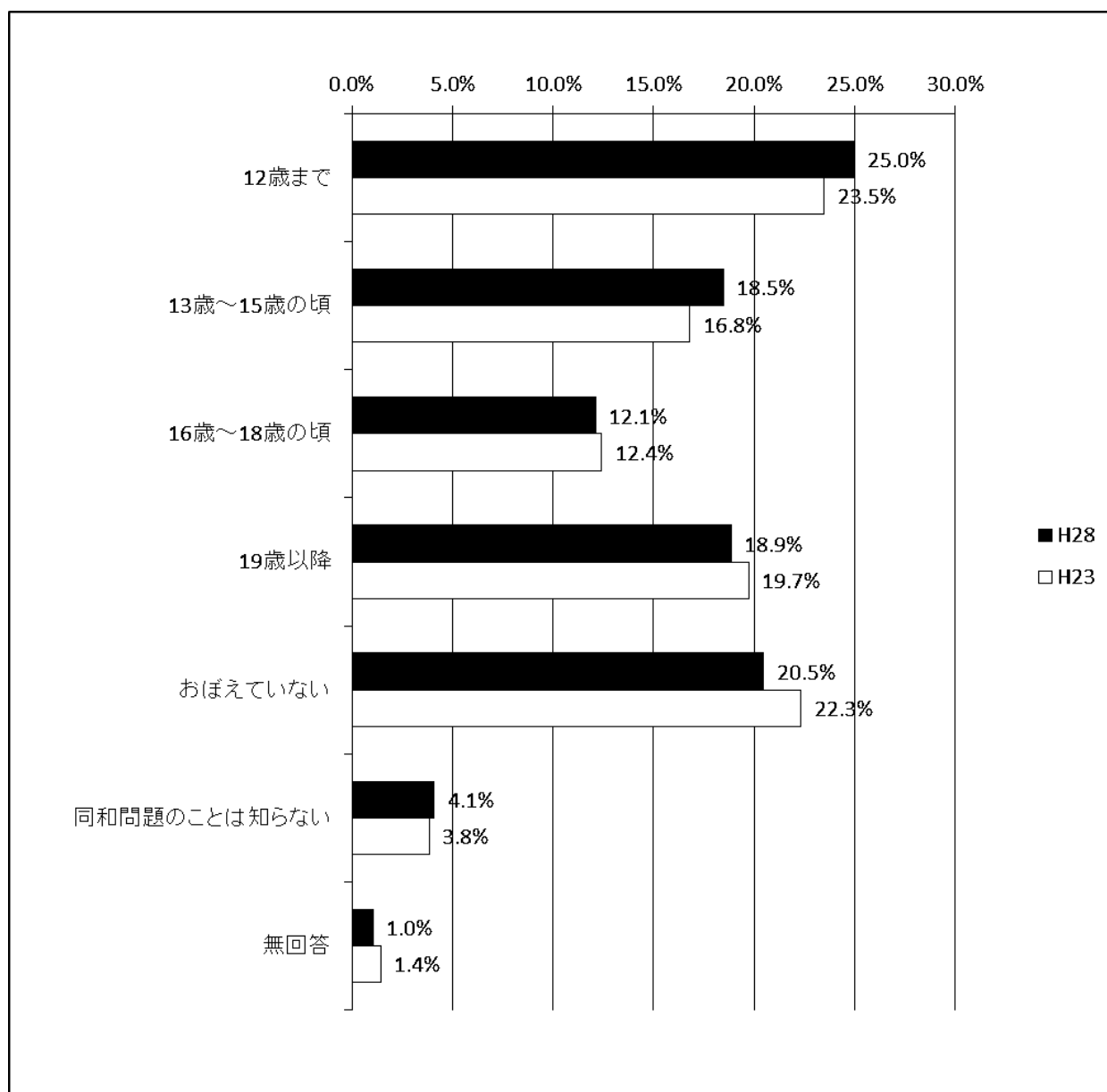


Ⅱ. 同和問題について

1. 同和問題の認知時期

問7 同和問題について、はじめて知ったのはいつでしたか。(○は1つ)

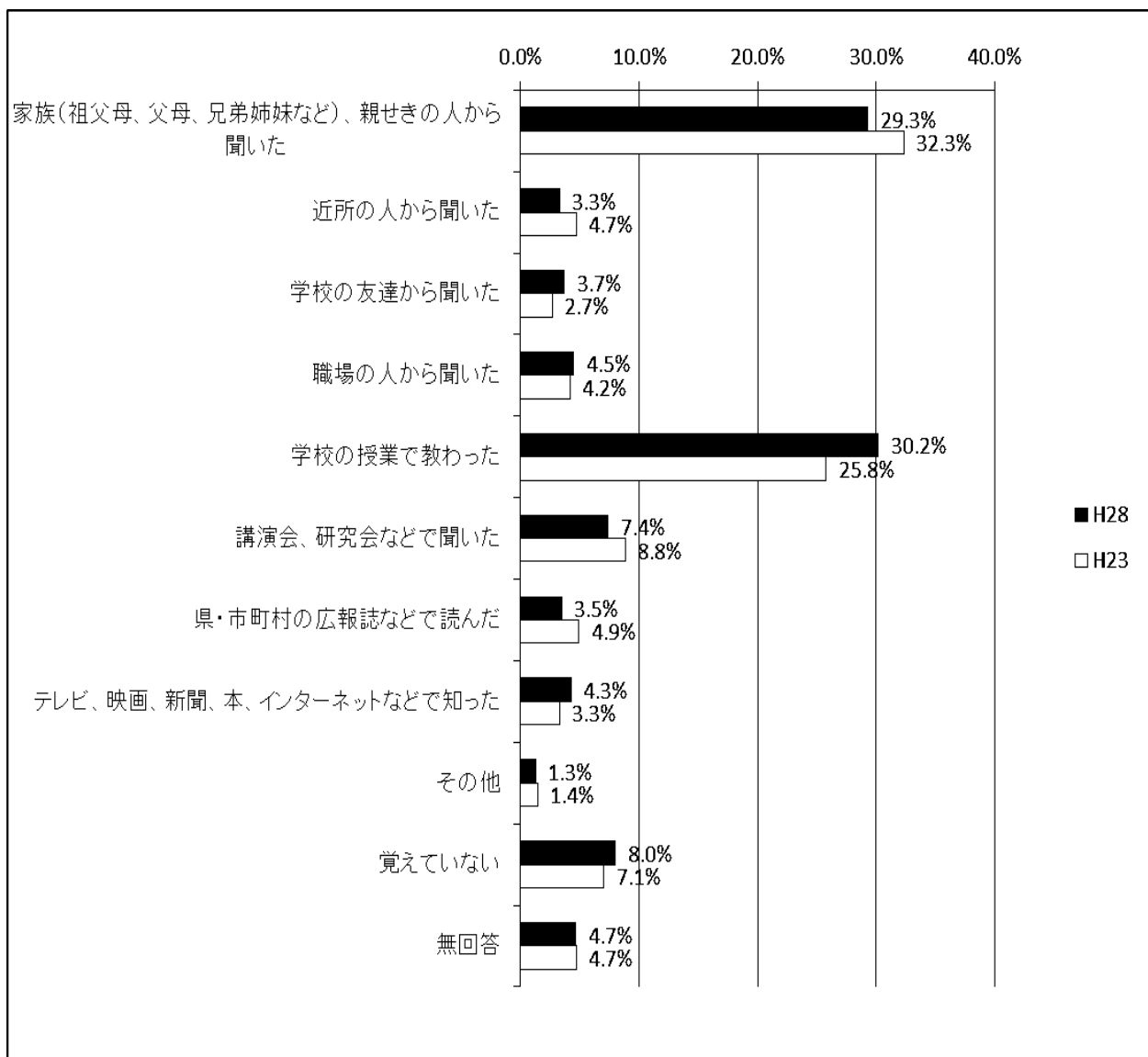
(総数 1246 人)



2. 同和問題の認知経路

問8 同和問題について知ったのは、どのようなきっかけでしたか。(〇は1つ)

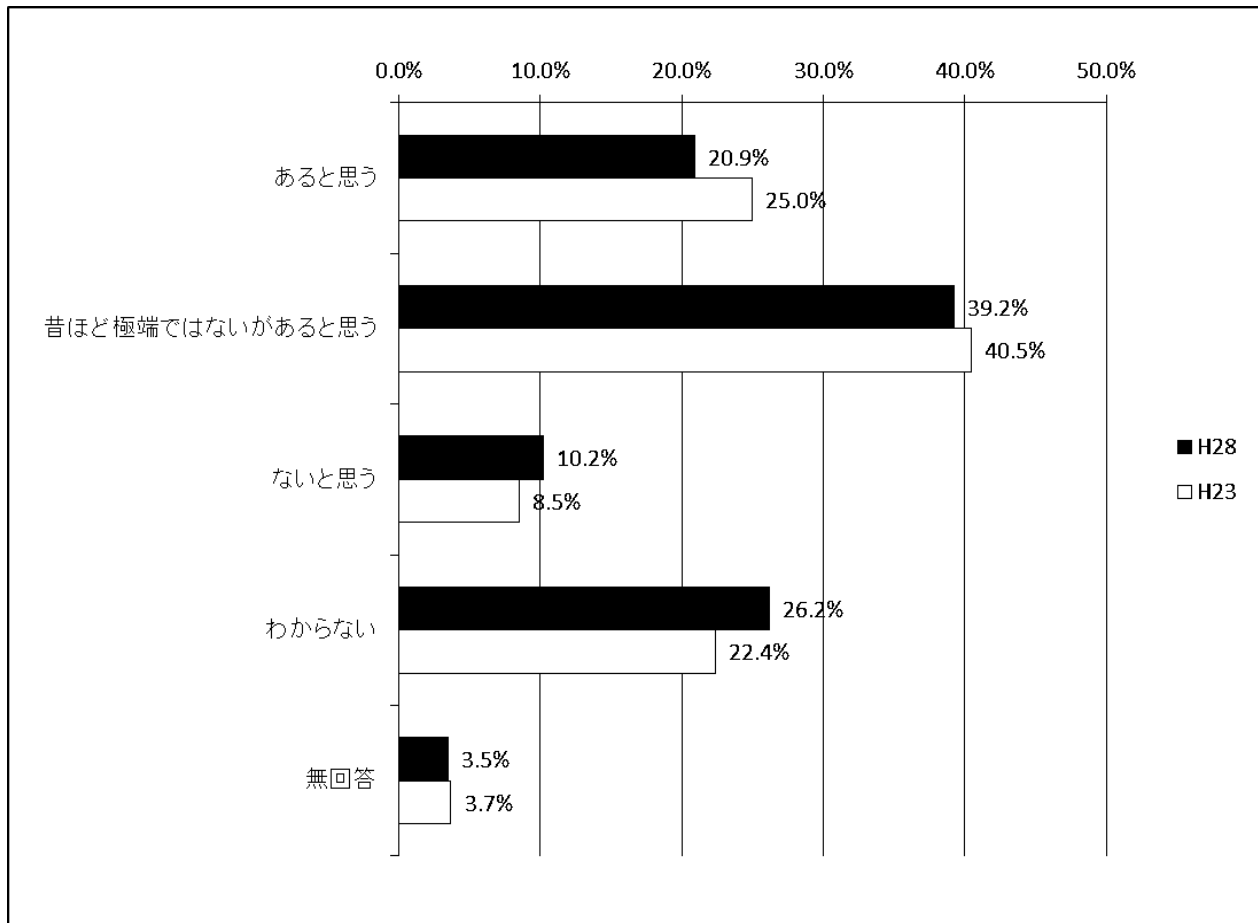
(総数 1246 人)



3. 同和問題の存在認識

問9 出雲市に同和問題（部落差別）はあると思いますか。（○は1つ）

（総数 1246 人）

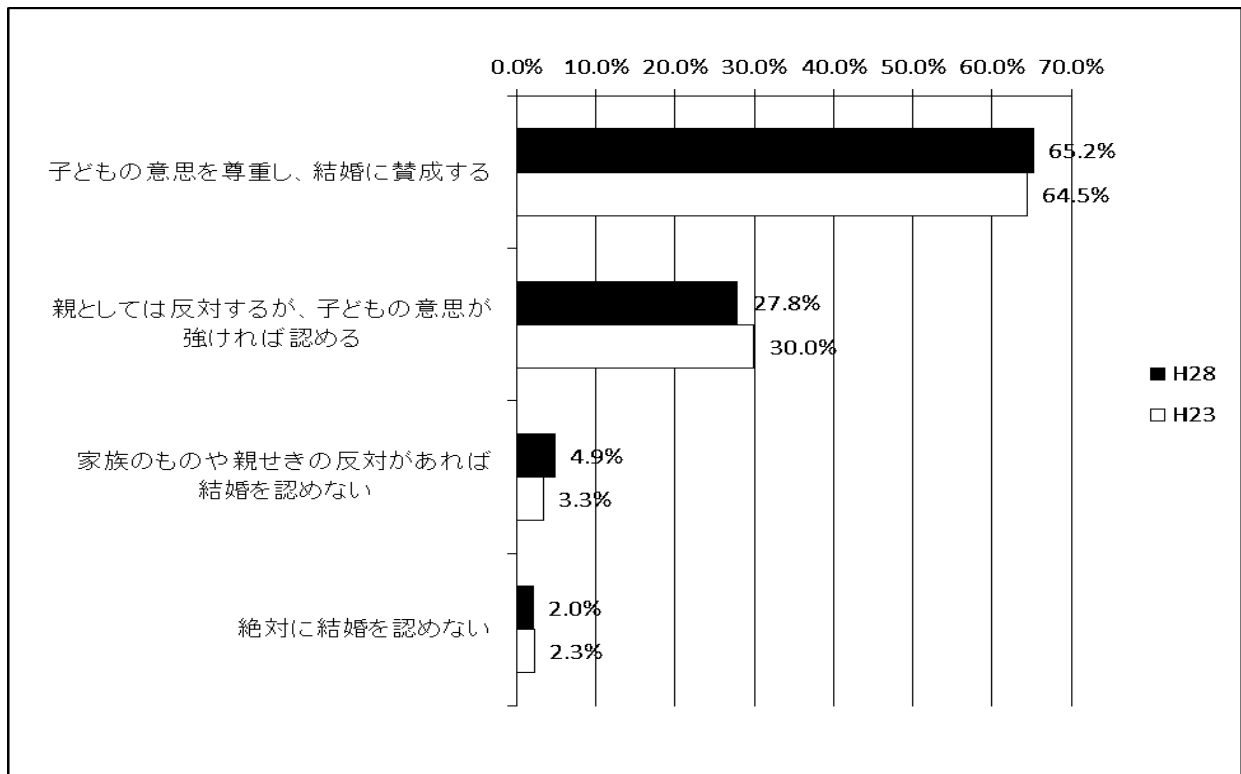


4. 子どもの同和地区出身者との結婚

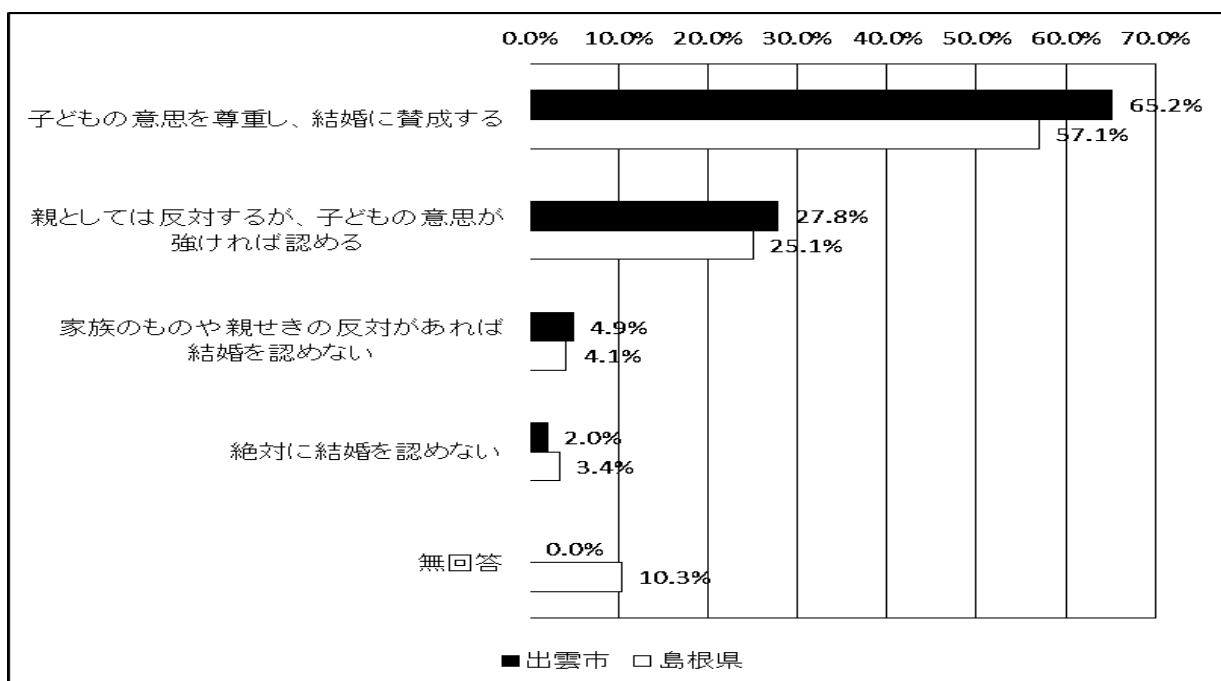
お子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。

問 10 仮に、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)

(該当者 880 人)



島根県調査(H28)との比較

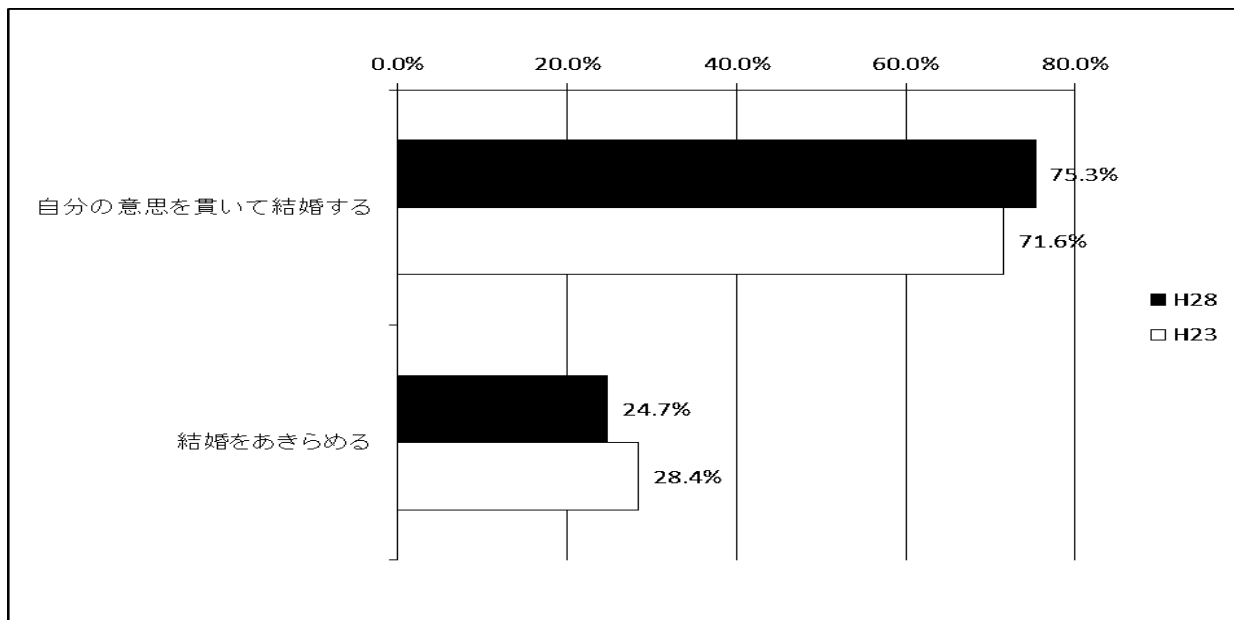


5. 同和地区出身者との結婚

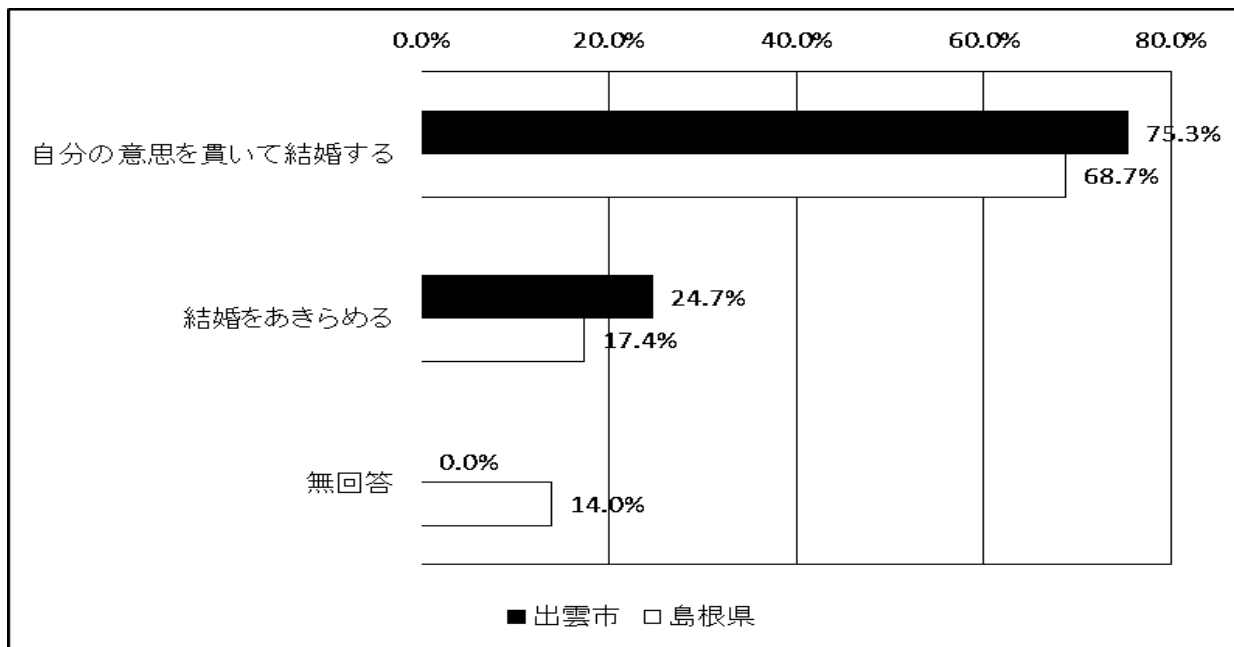
これから結婚を考えられる方にお尋ねします。

問 11 仮に、あなたが同和地区の人と知り合い、結婚しようとしたとき、親や親せきから強い反対を受けた場合、あなたはどうしますか。(〇は1つ)

(該当者 178 人)



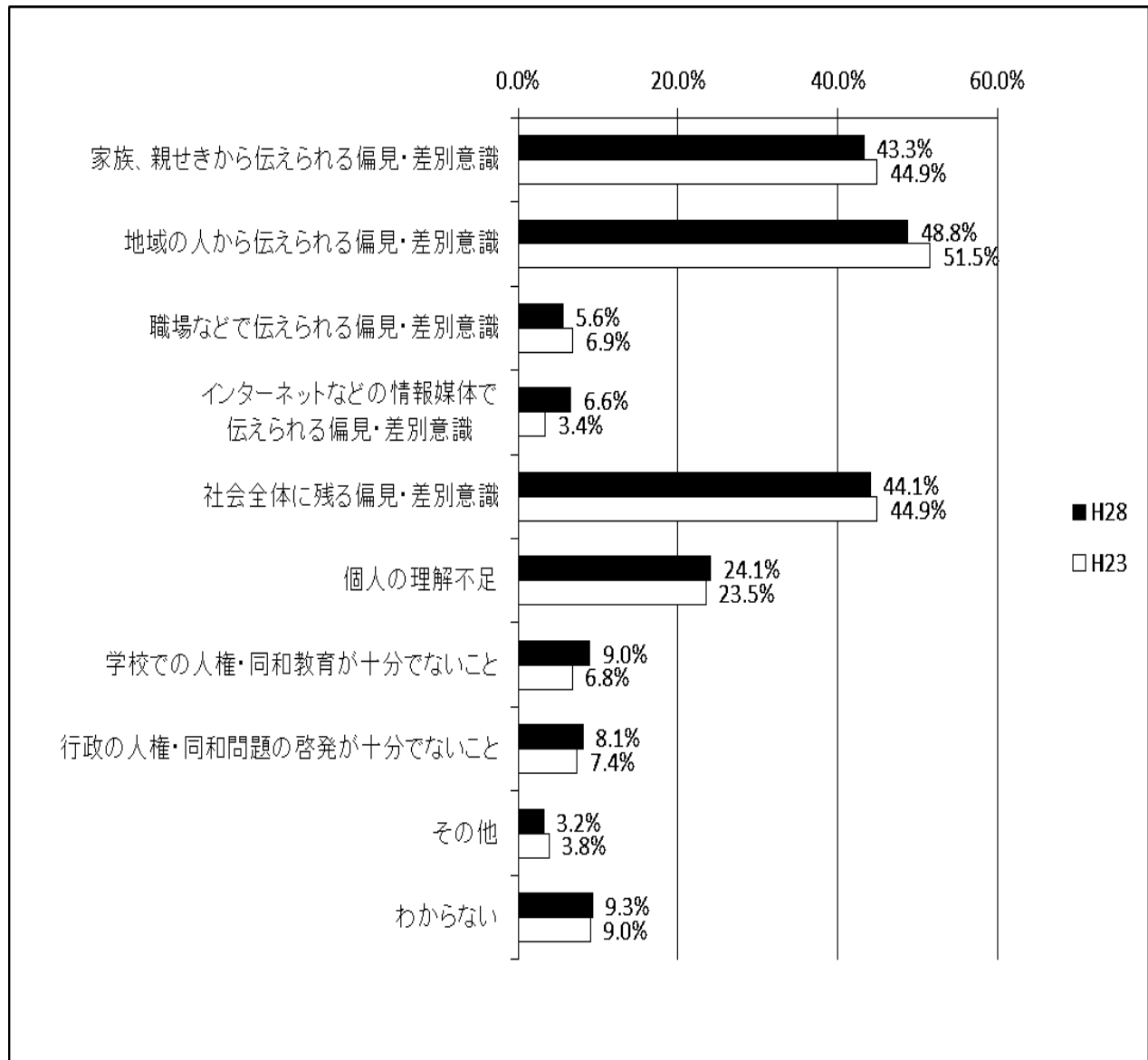
島根県調査(H28)との比較



6. 同和問題の原因や背景

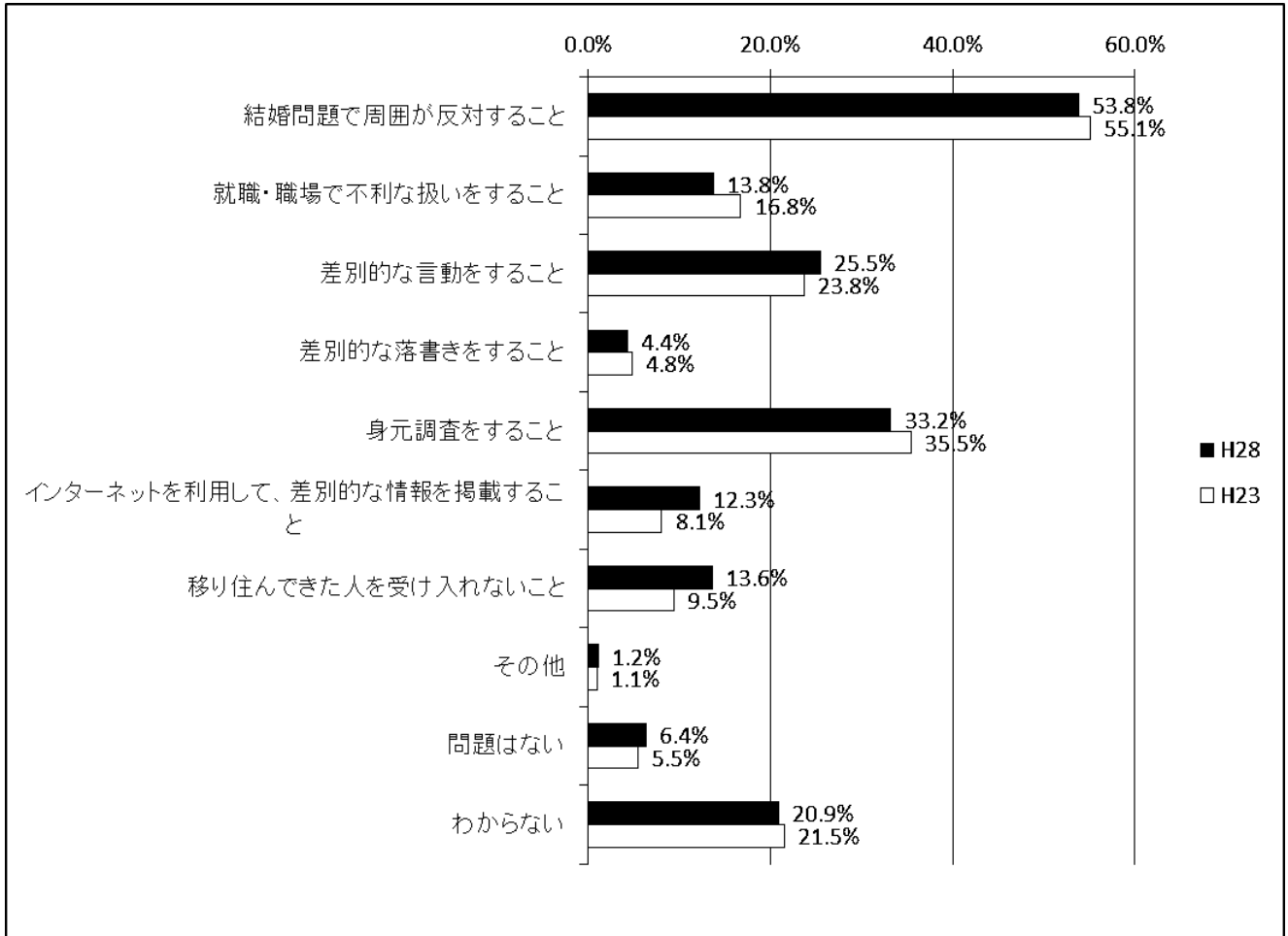
問 12 同和問題が残っている原因や背景は何だと思いますか。(〇は3つまで)

(総数 1246 人)



7. 同和問題に関する人権上の問題

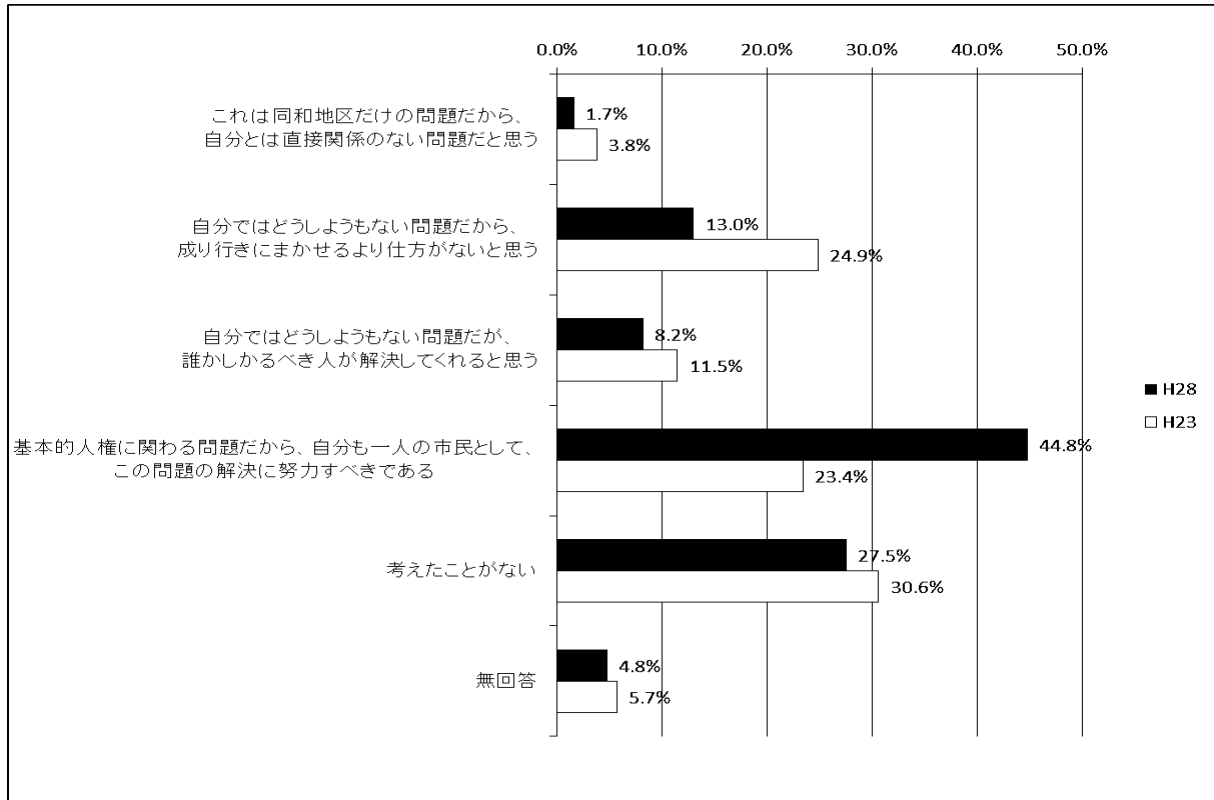
問 13 同和問題に関し、現在どのような人権上の問題が起きていると思いますか。(〇はいくつでも)
(総数 1246 人)



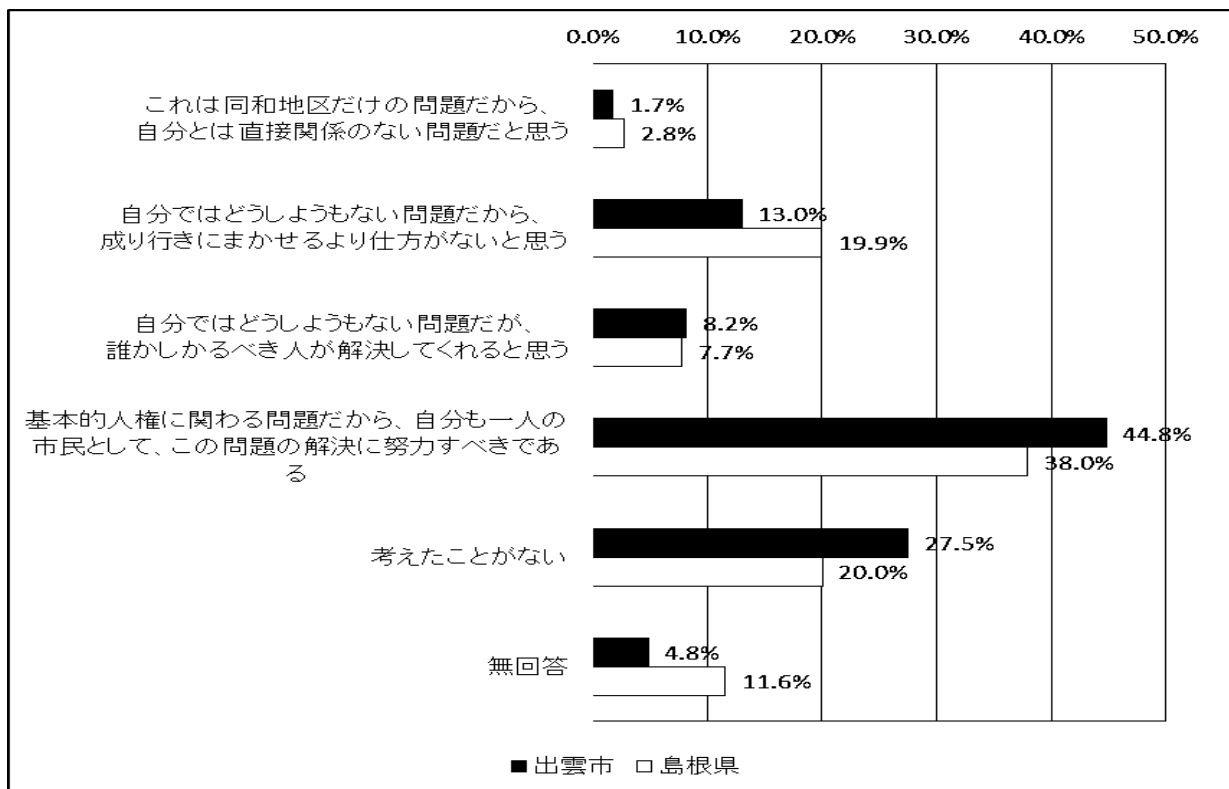
8. 同和問題の解決に対する考え

問 14 同和問題の解決に対するあなたの考え方はどうですか。(○は1つ)

(総数 1246 人)



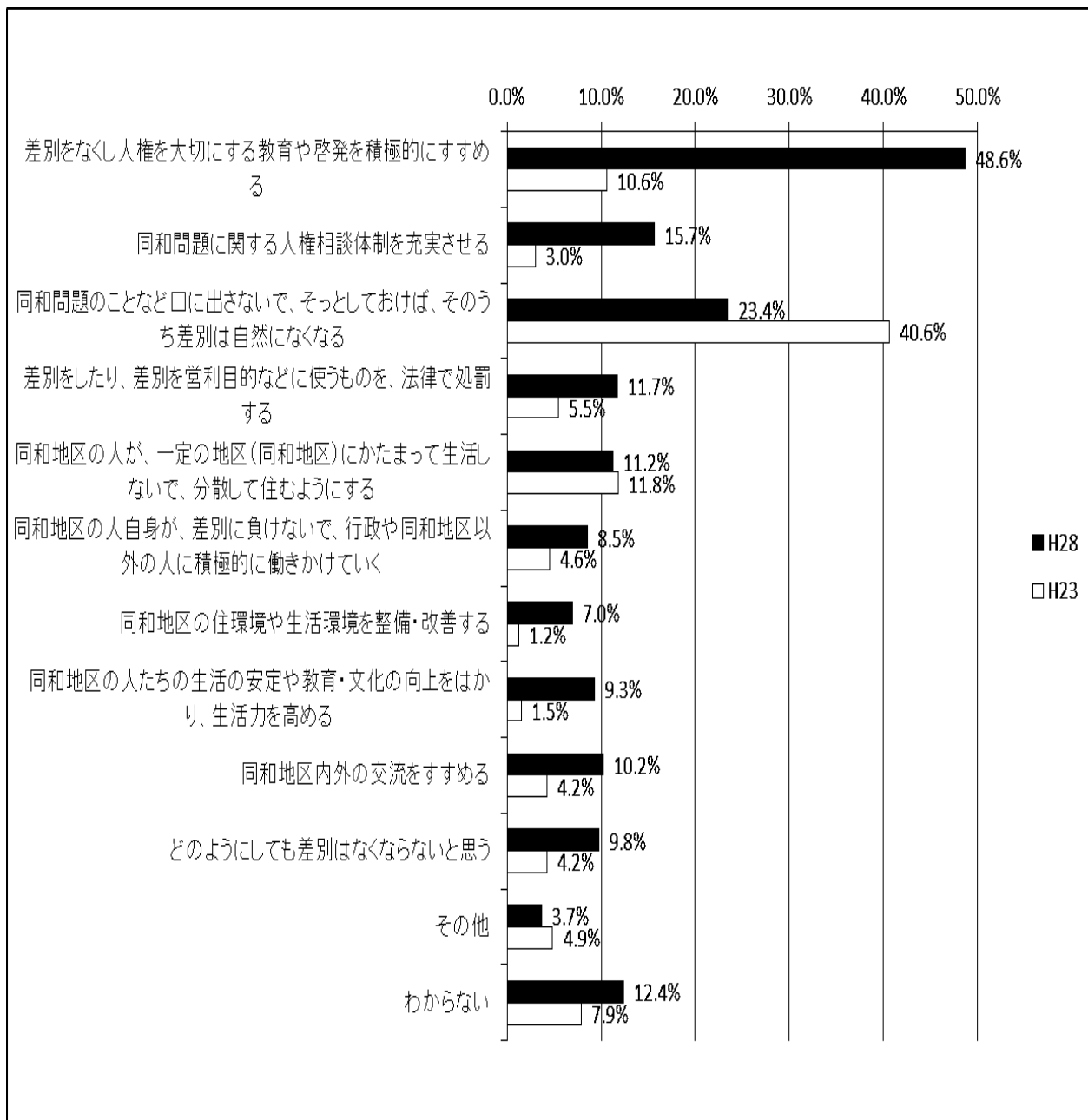
島根県調査(H28)との比較



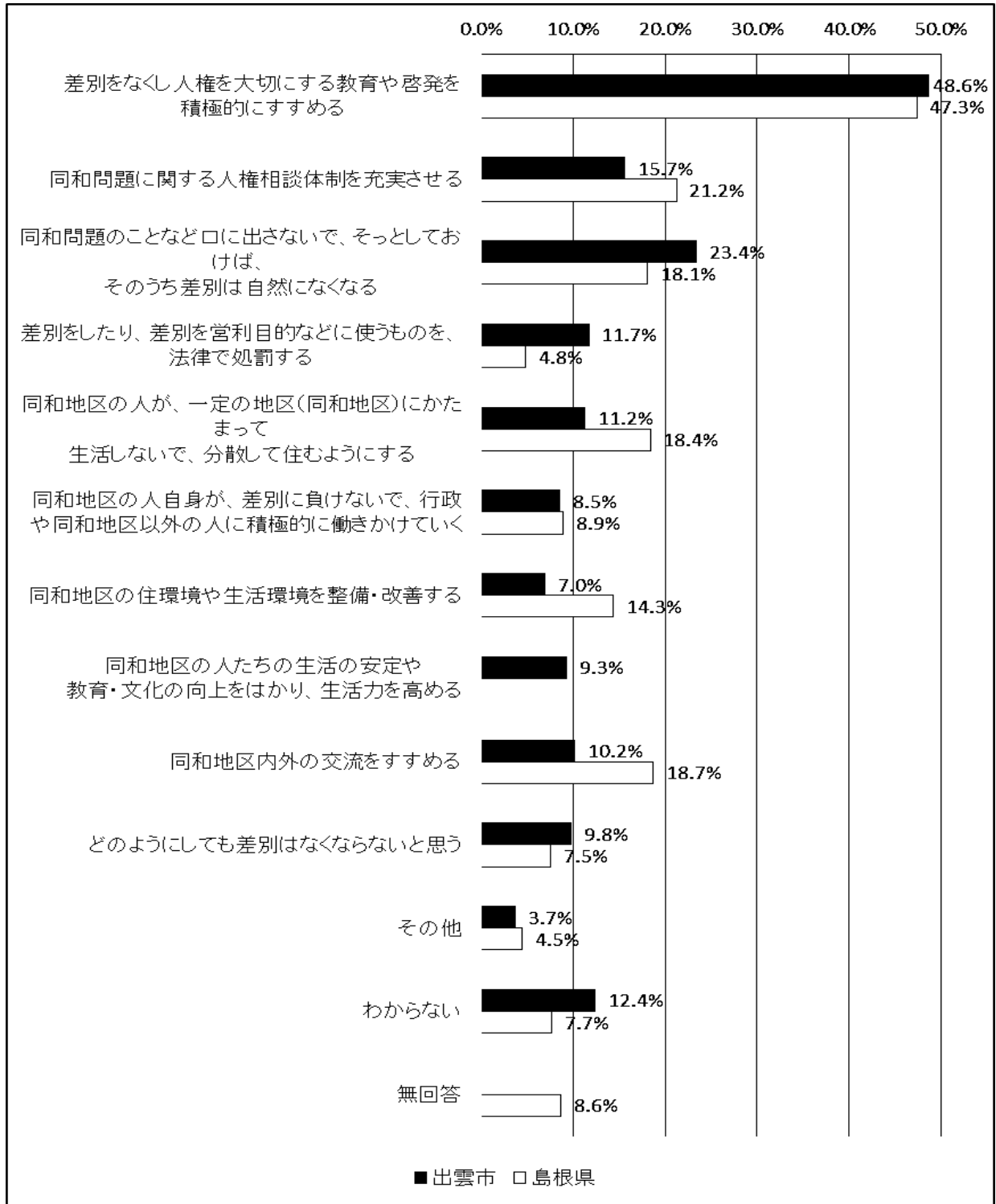
9. 同和問題の解決に必要なこと

問 15 同和問題を解決するためには、どうしたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

(総数 1246 人)



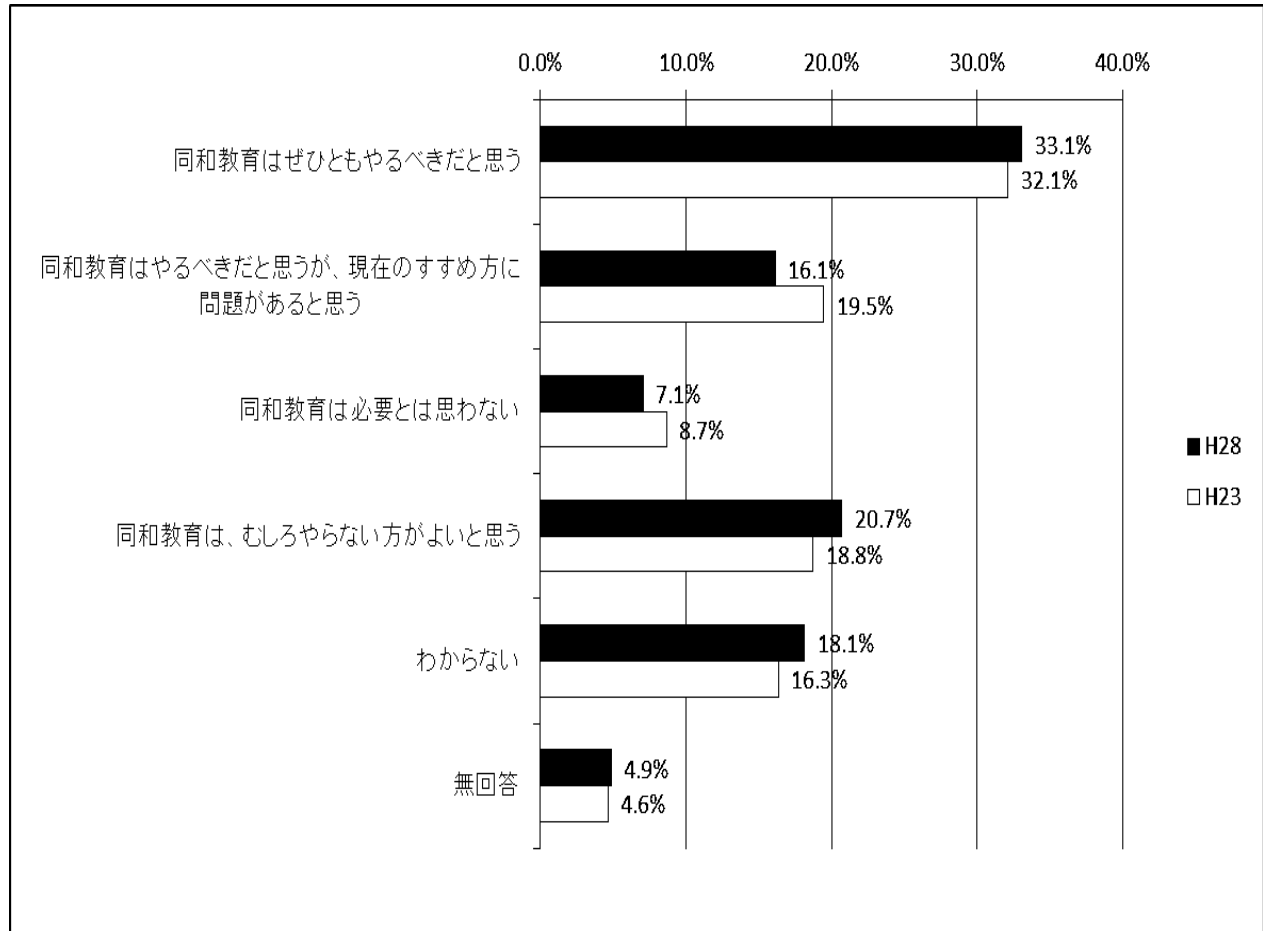
島根県調査(H28)との比較



10. 学校や地域社会での同和教育

問 16 学校や地域社会での同和教育について、どう思われますか。(○は1つ)

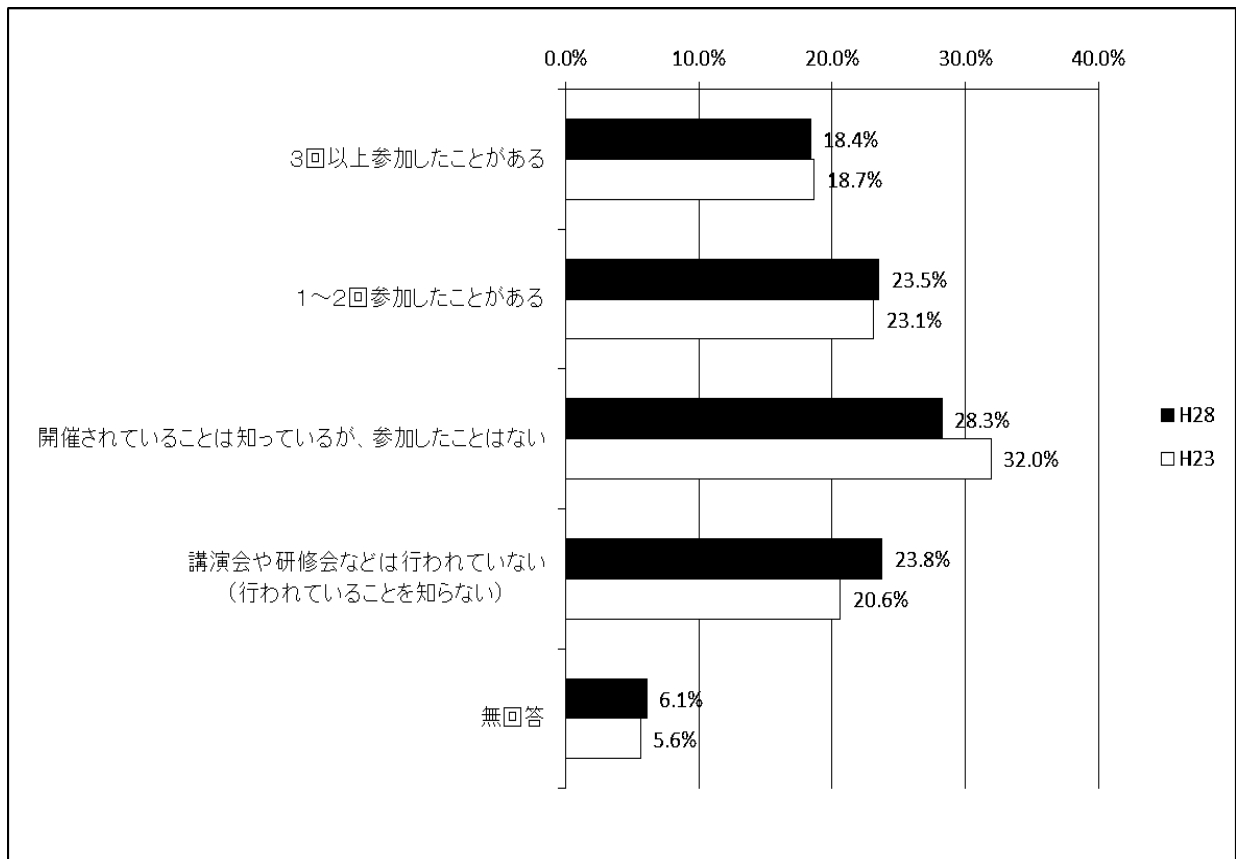
(総数 1246 人)



1 1. 「同和問題」講演会などへの参加

問 17 市、地域、学校などで行われる「同和問題」についての講演会、研修会、学習会などに参加されたことがありますか。(〇は1つ)

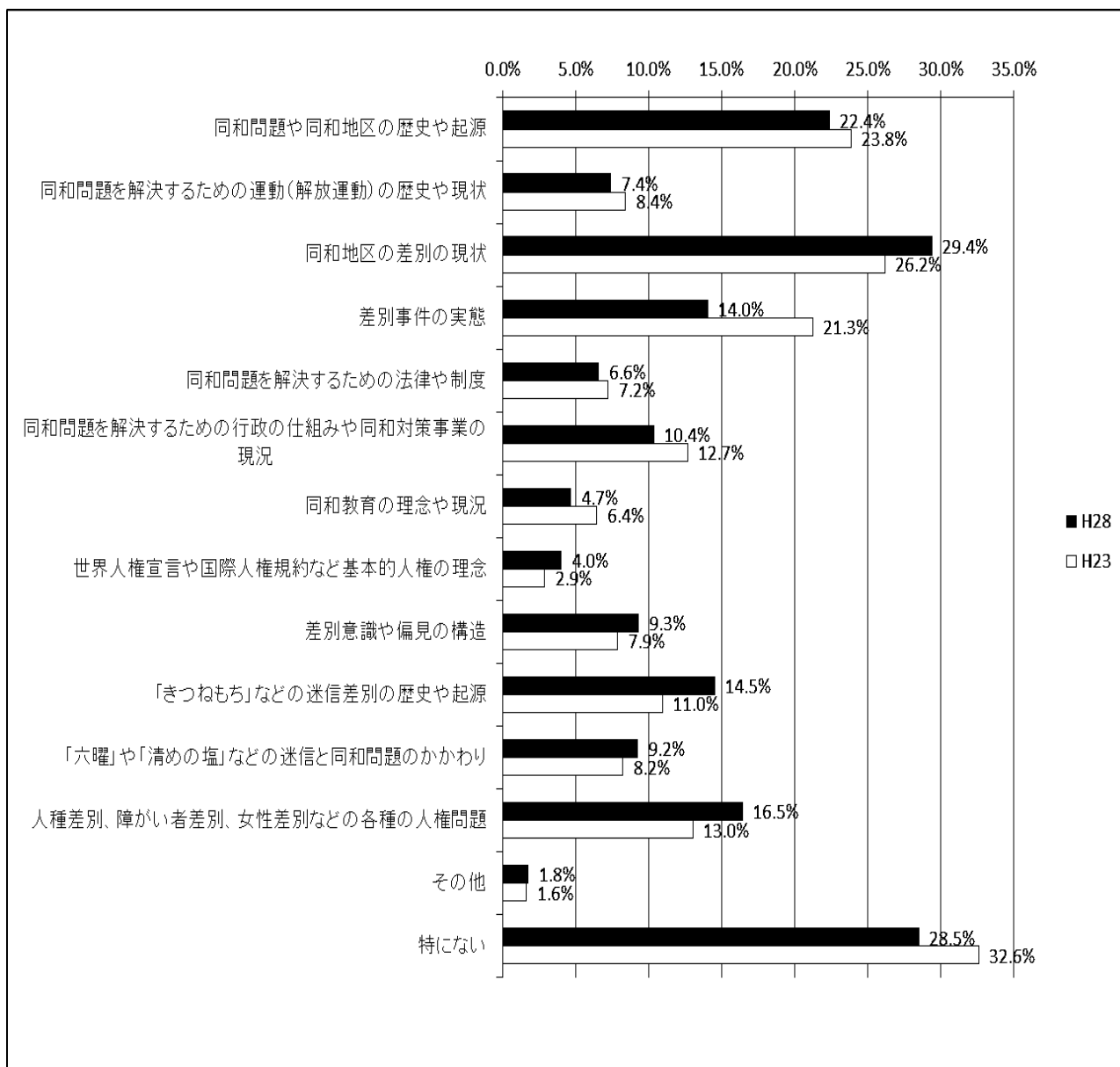
(総数 1246 人)



1 2. 同和問題で学習したいこと

問 18 同和問題やその他の人権問題などのことについて、知りたいとか、勉強したいとお考えのことはありますか。(〇は3つまで)

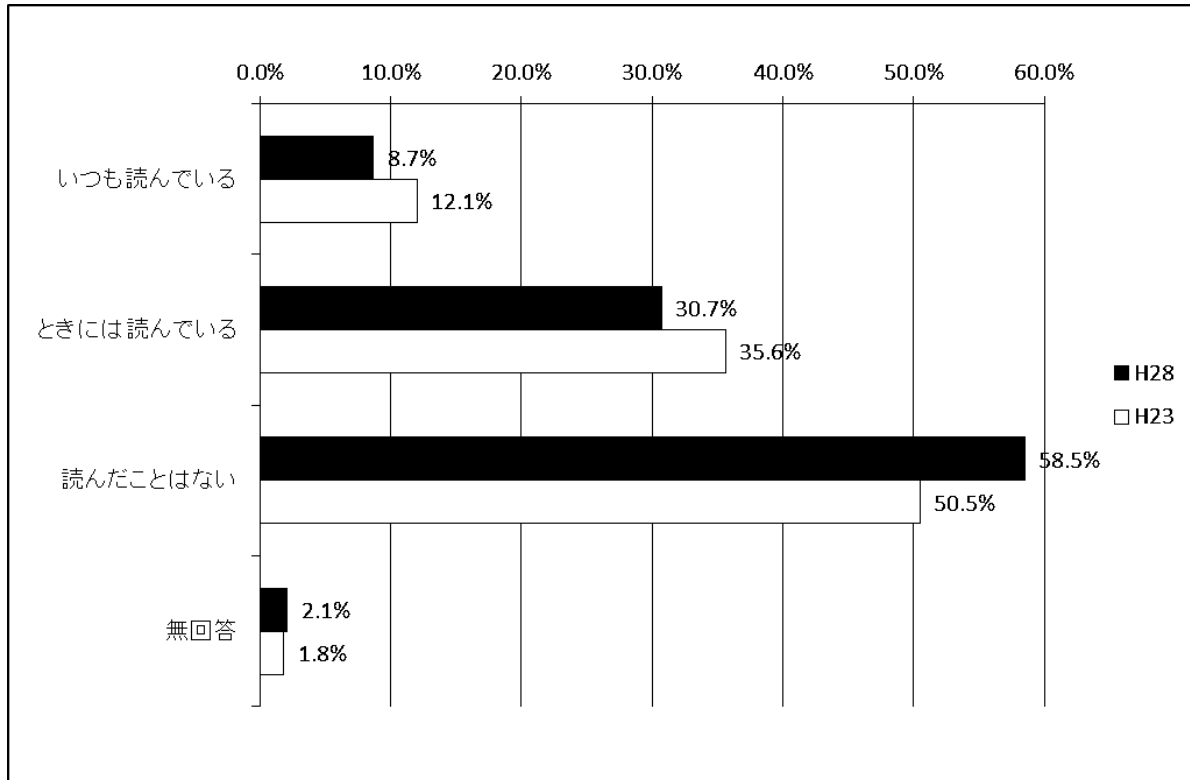
(総数 1246 人)



13. 「みちしるべ」での啓発

問19 出雲市では同和問題啓発広報「みちしるべ」を、年4回広報いずもに掲載していますが、お読みになっていますか。(○は1つ)

(総数 1246 人)

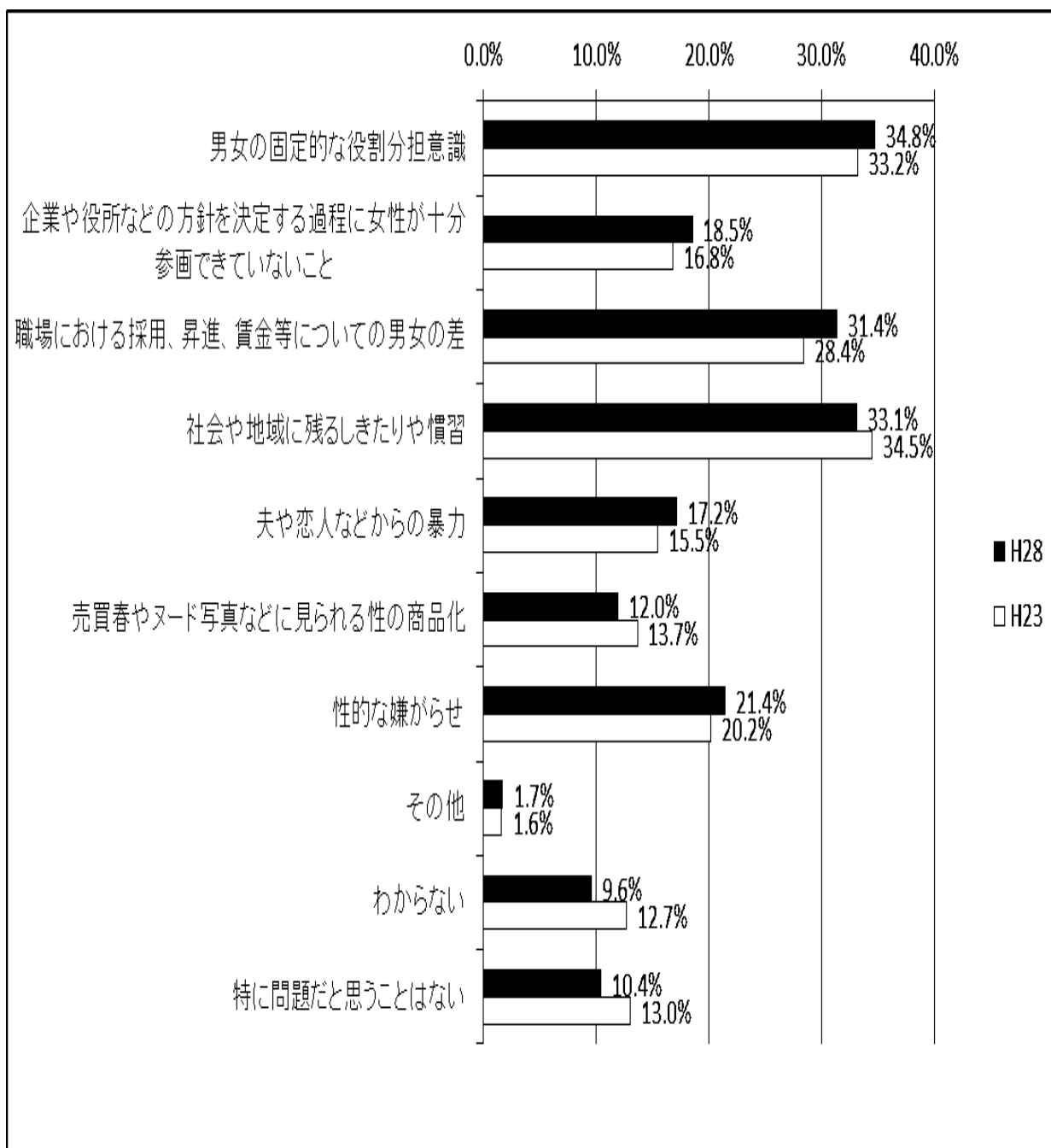


Ⅲ. 女性の人権について

1. 女性に関する人権上の問題

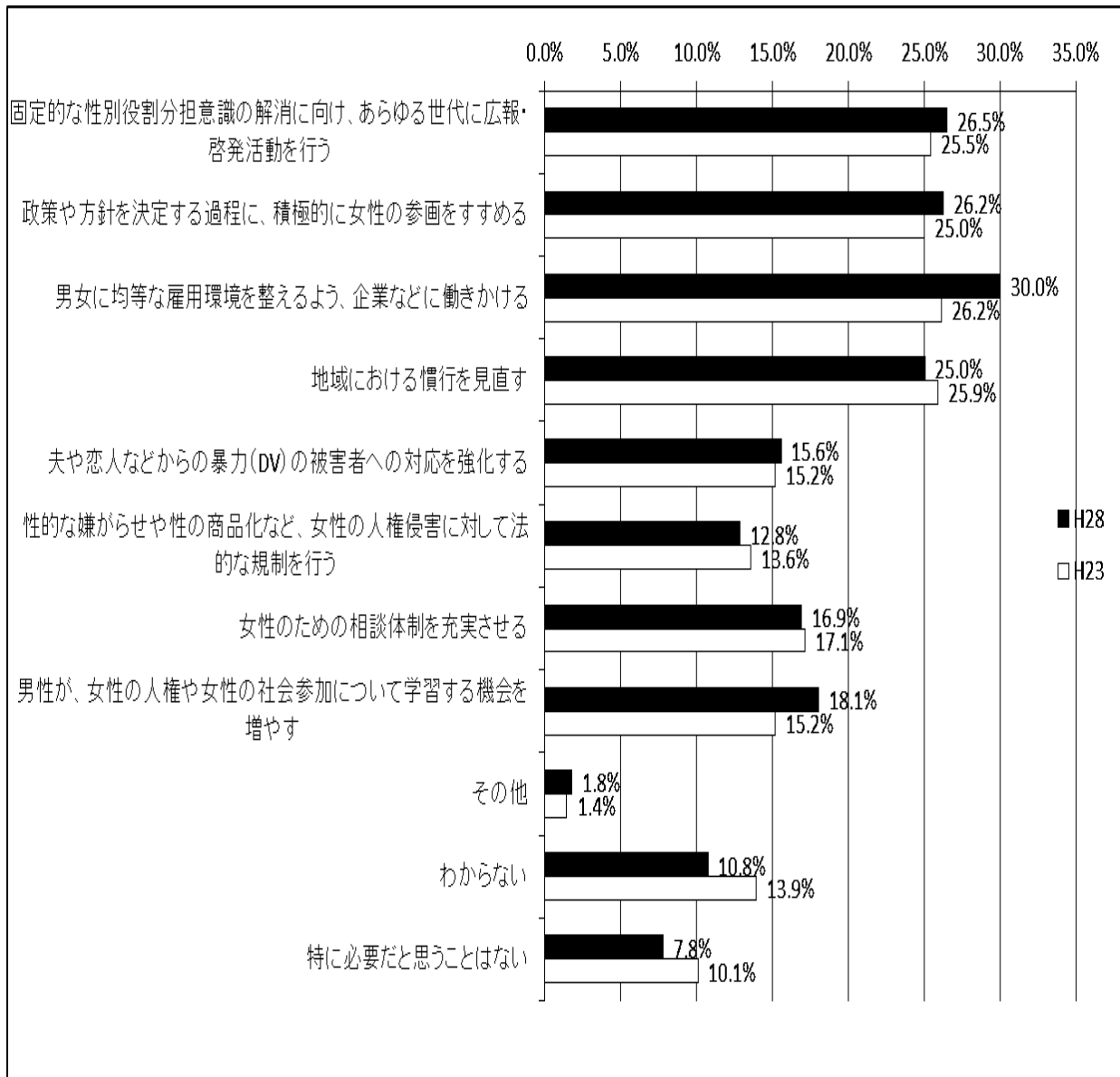
問 20 女性の人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。(〇は3つまで)

(総数 1246 人)



2. 女性の人権を守るために必要なこと

問 21 女性の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)
(総数 1246 人)

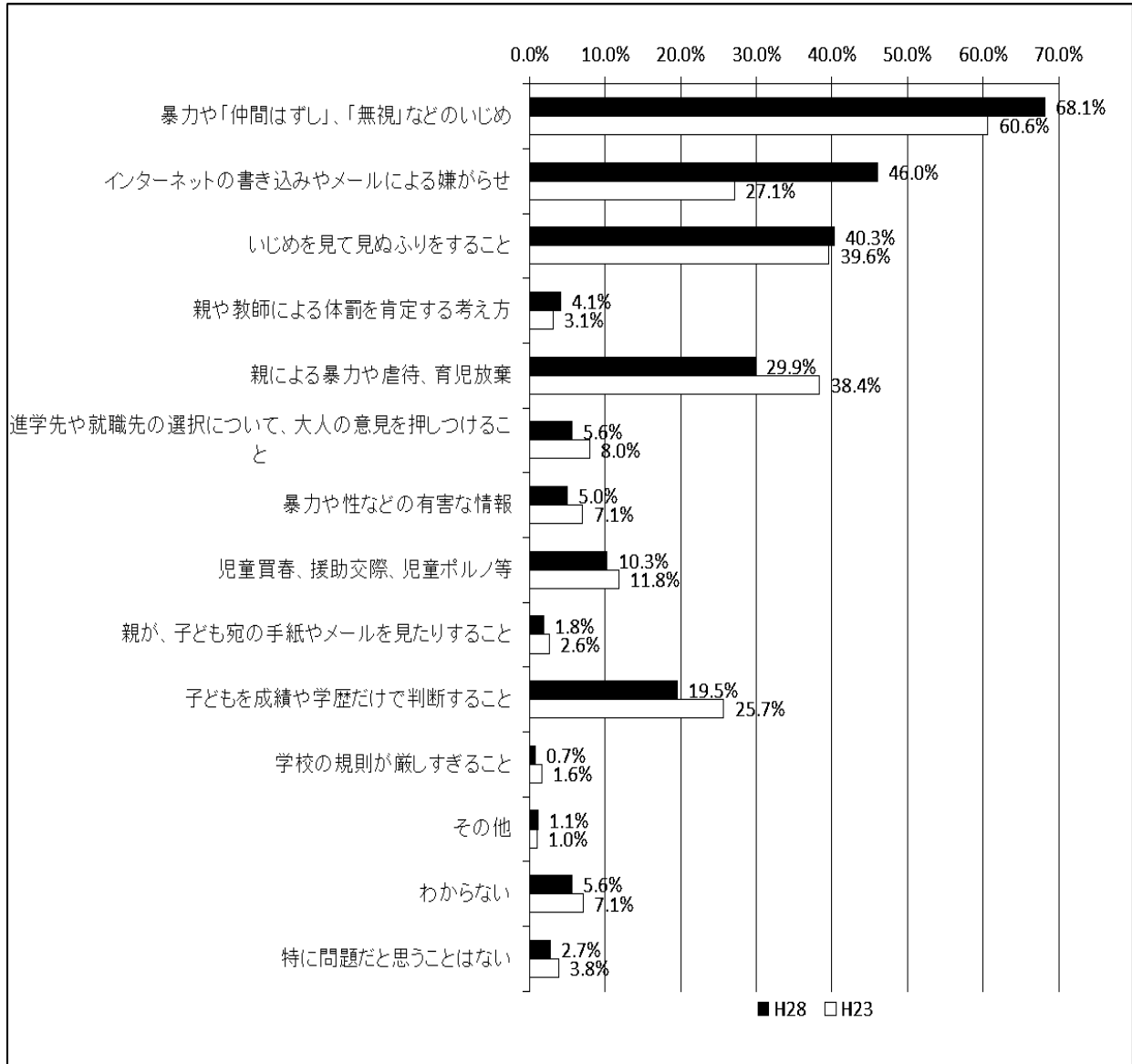


IV. 子どもの人権について

1. 子どもに関する人権上の問題

問 22 子どもの人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。(〇は3つまで)

(総数 1246 人)

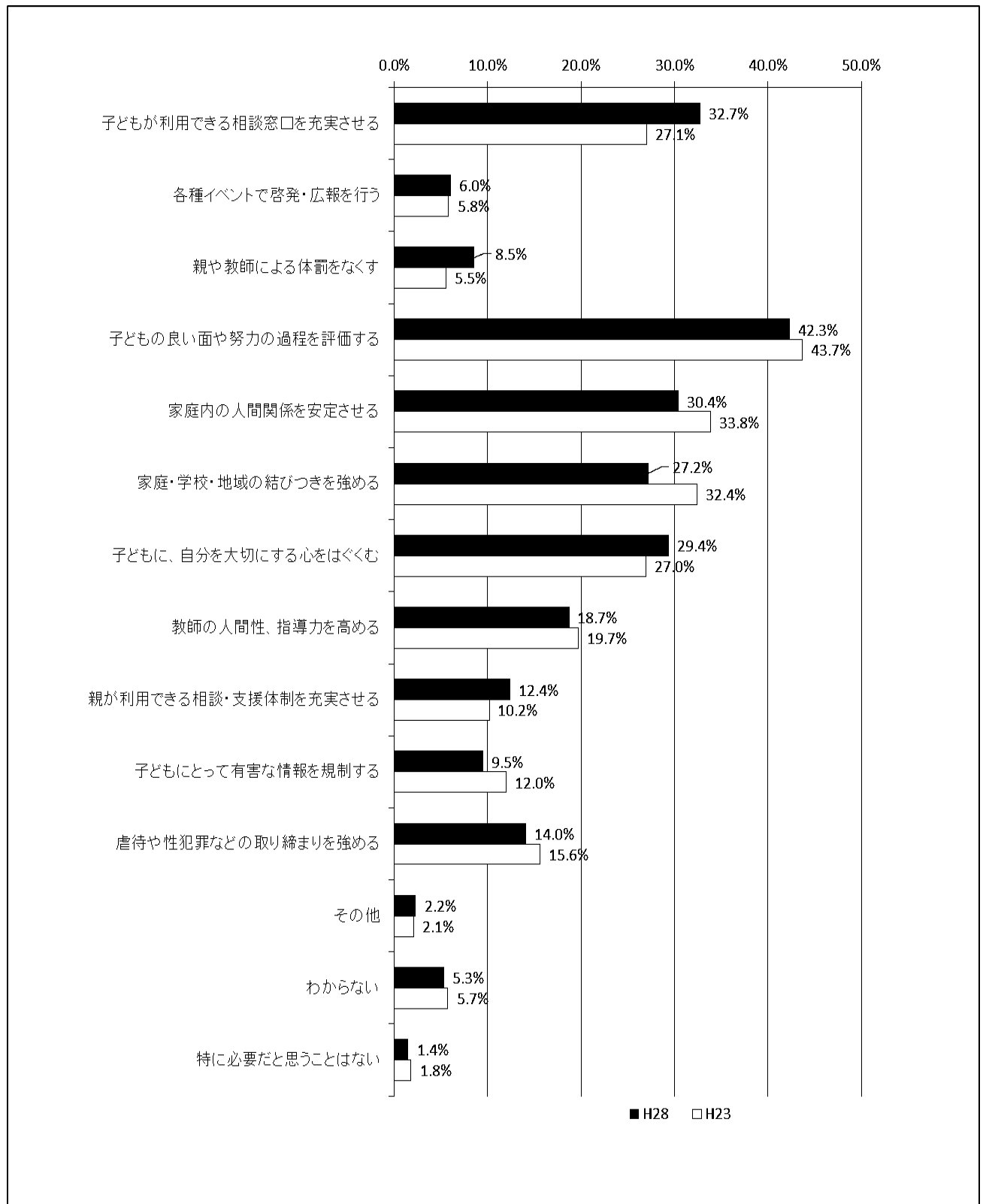


2. 子どもの人権を守るために必要なこと

問 23 子どもの人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

(総数 1246 人)

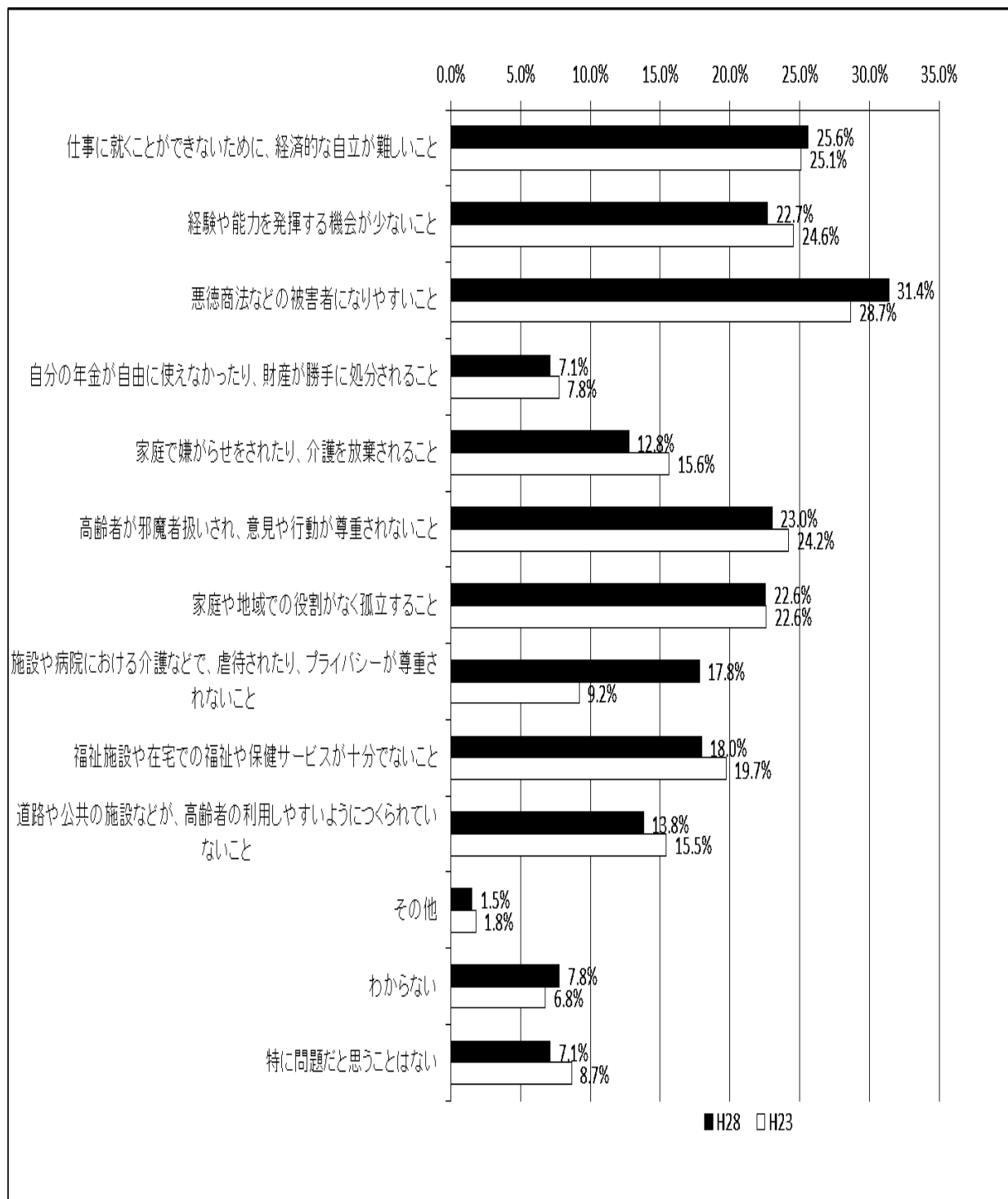


V. 高齢者の人権について

1. 高齢者に関する人権上の問題

問 24 高齢者の人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。(〇は3つまで)

(総数 1246 人)

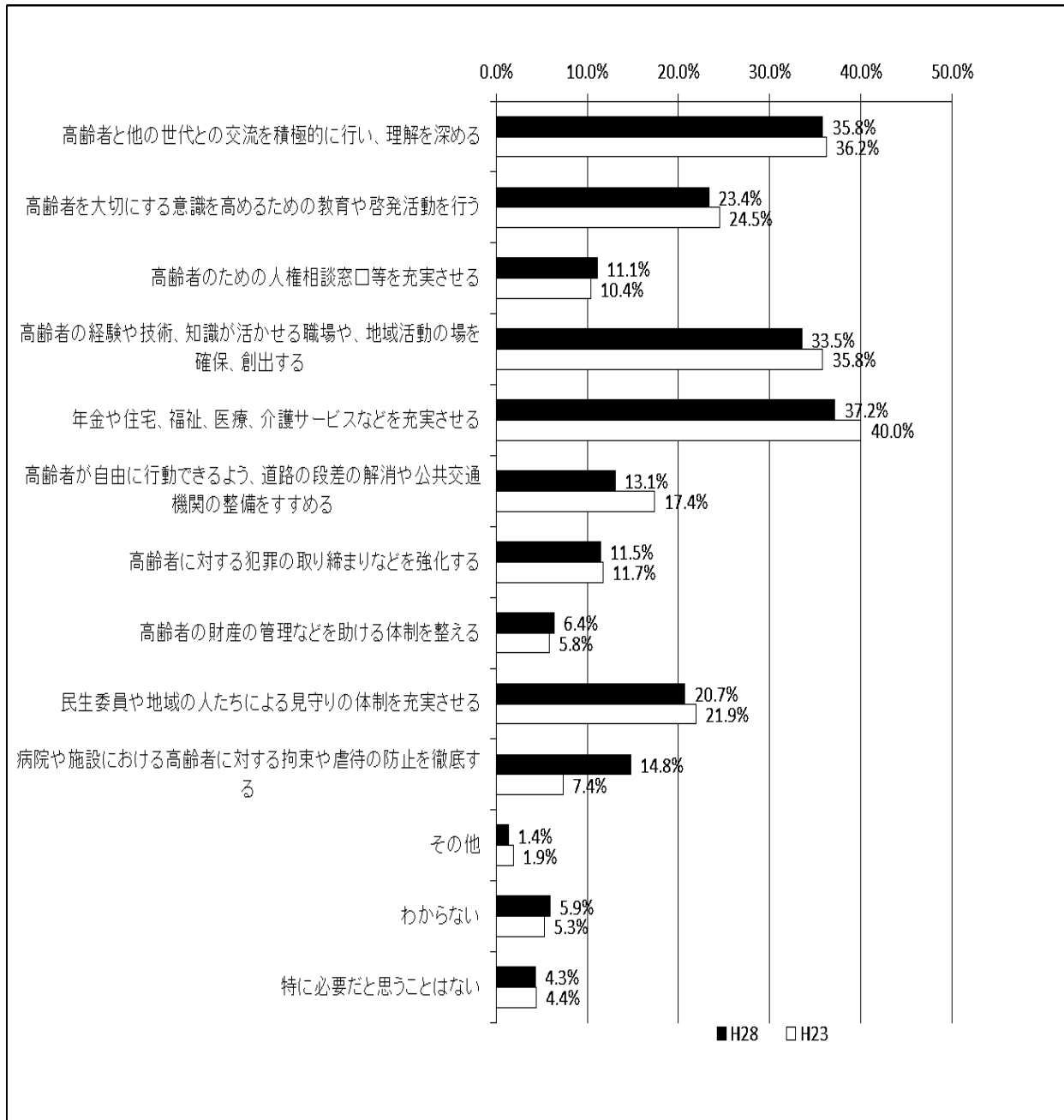


2. 高齢者の人権を守るために必要なこと

問 25 高齢者の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

(総数 1246 人)



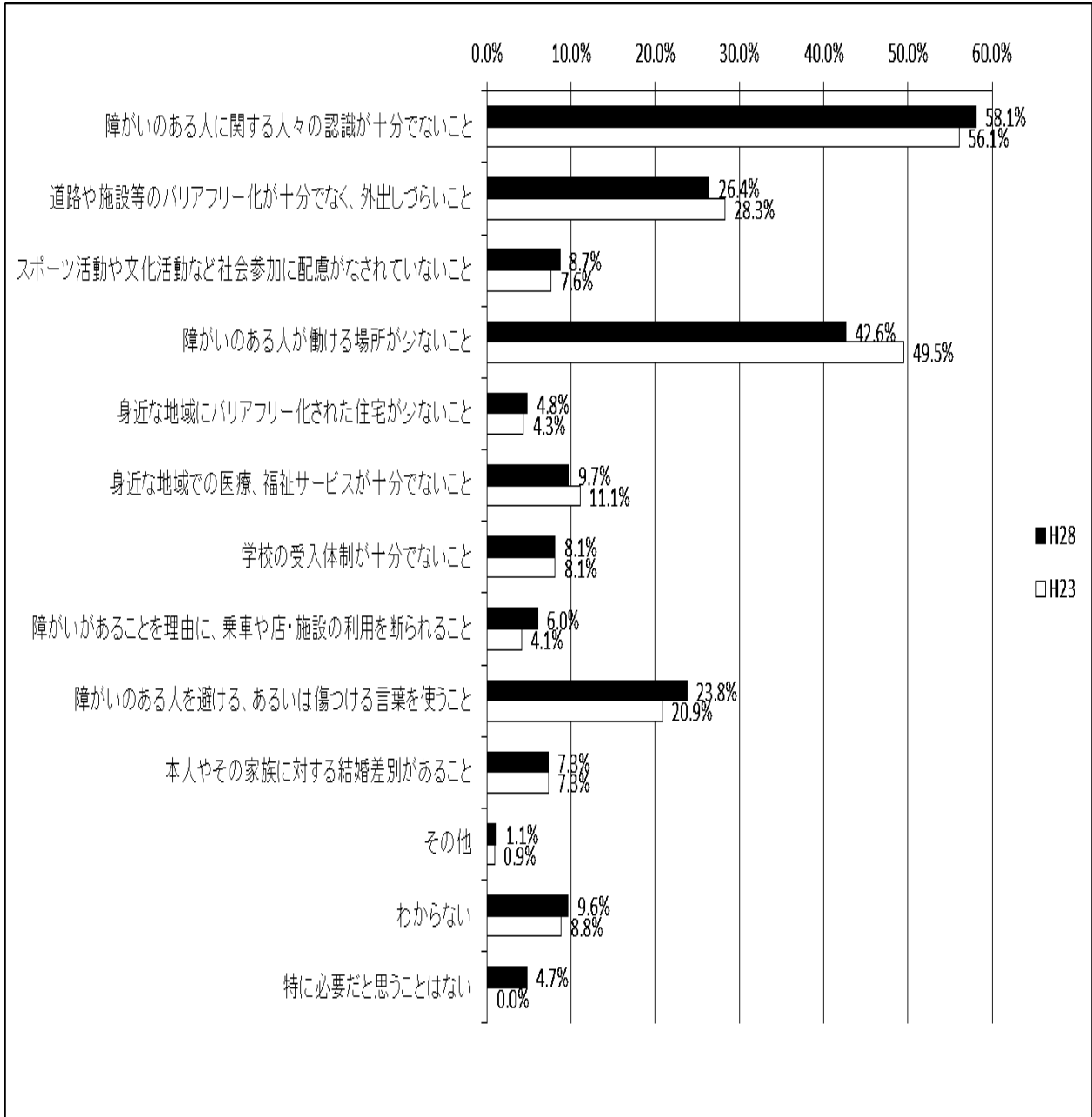
VI. 障がいのある人の人権について

1. 障がいのある人に関する人権上の問題

問 26 障がいのある人の人権について、特にどのようなことが問題だと思えますか。

(○は3つまで)

(総数 1246 人)

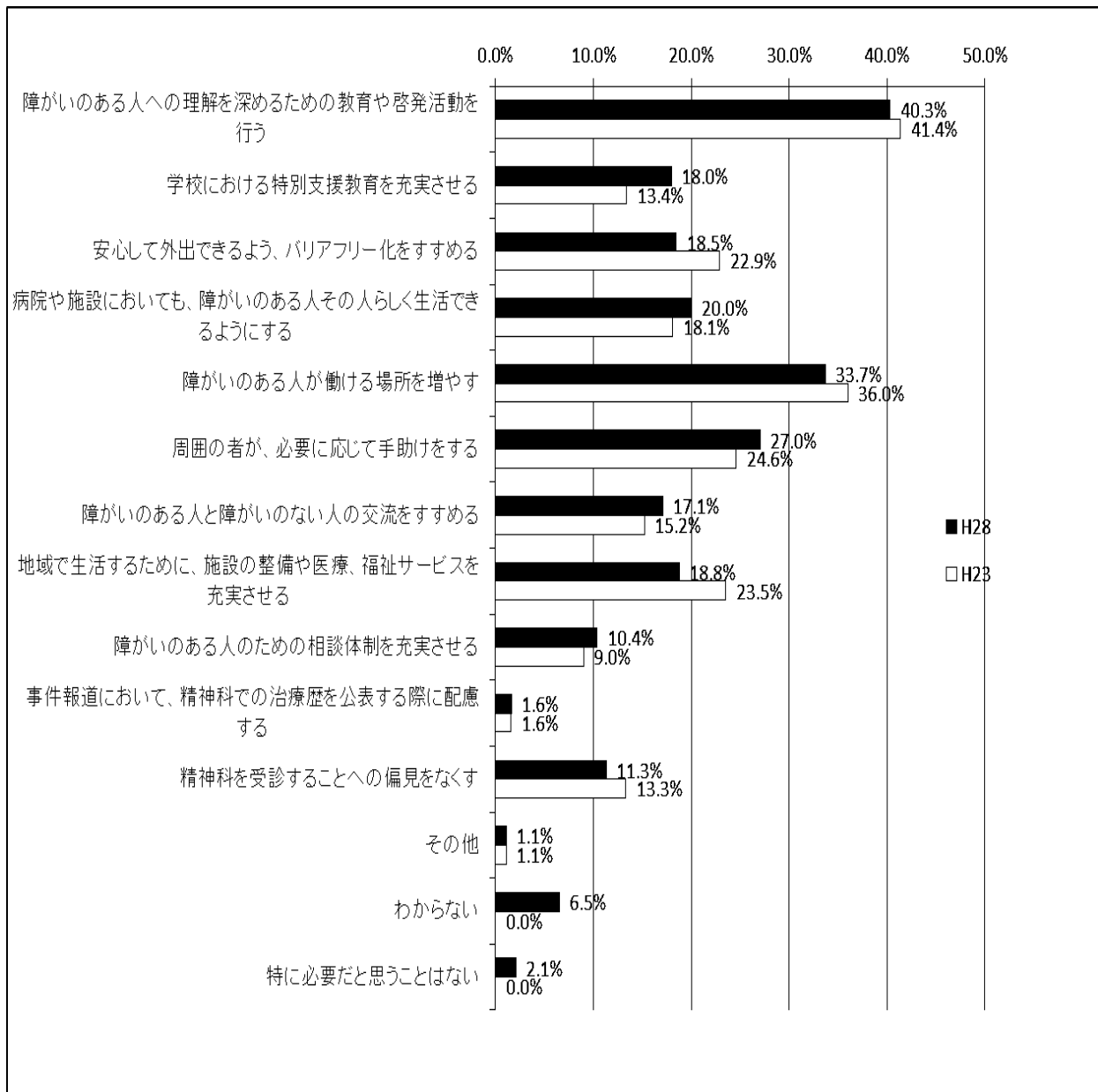


2. 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

問 27 障がいのある人の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

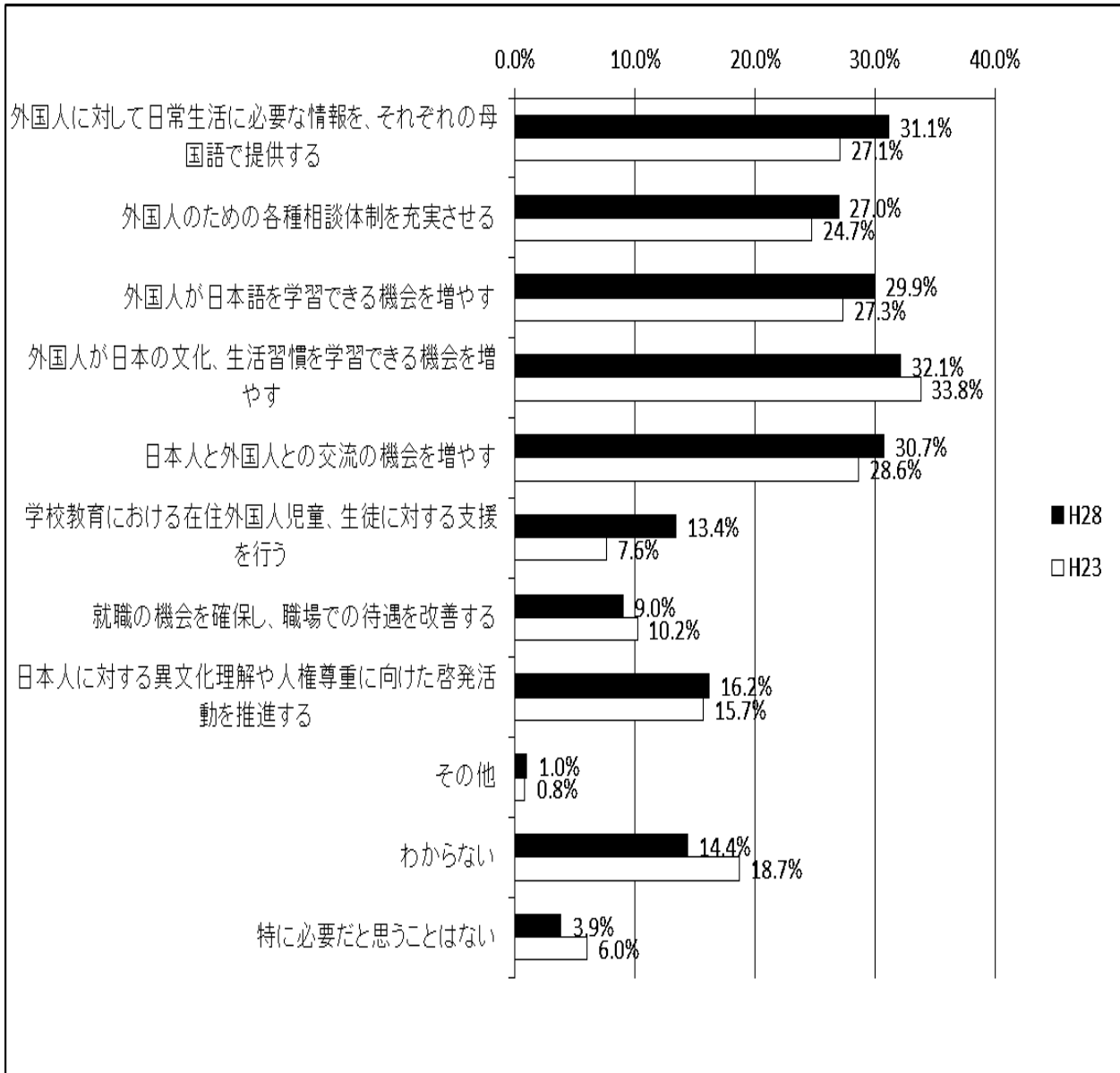
(総数 1246 人)



VII. 外国人の人権について

1. 外国人の人権を守るために必要なこと

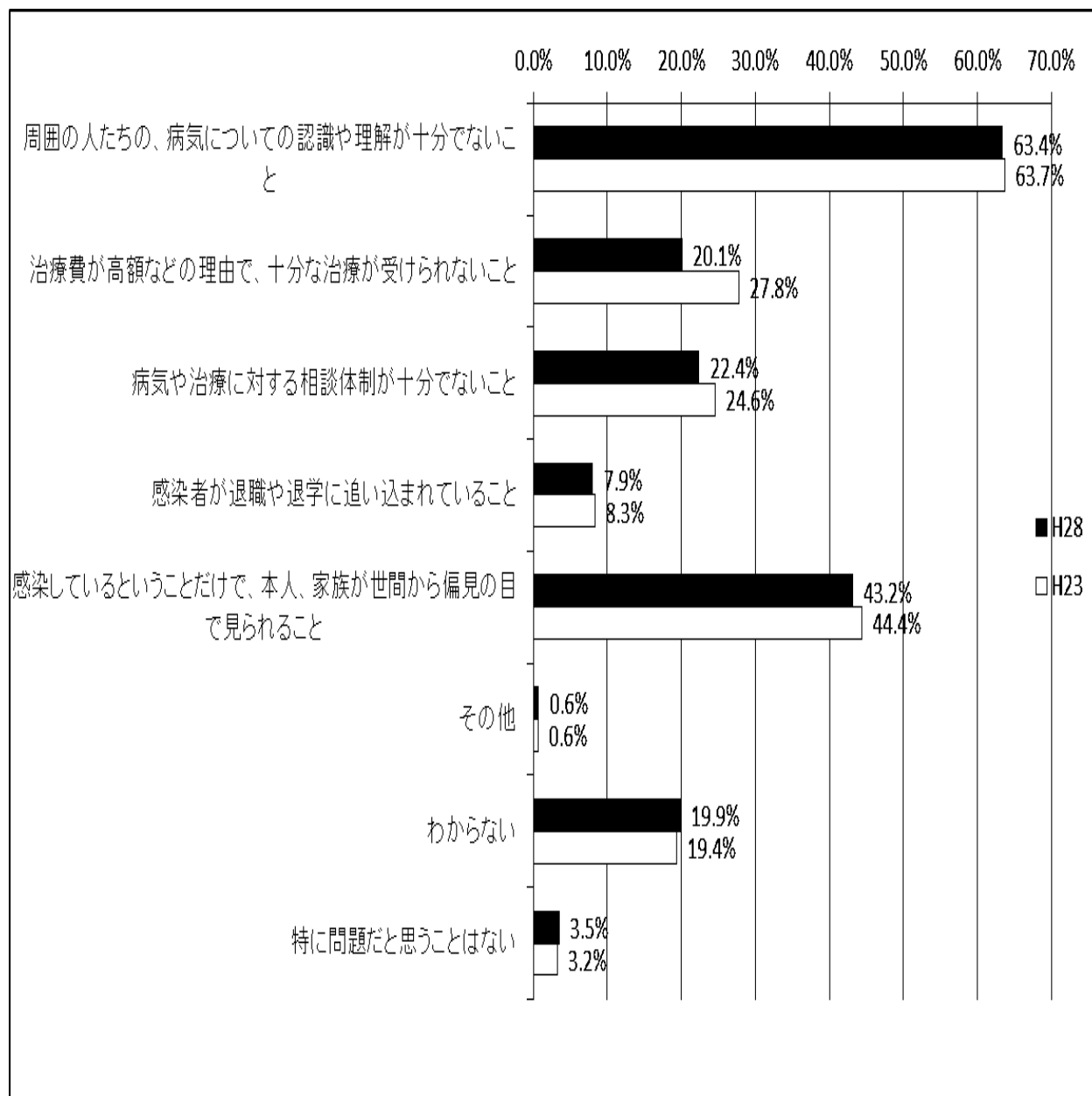
問 28 日本で生活する外国人の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで) (総数 1246 人)



VIII. 患者の人権について

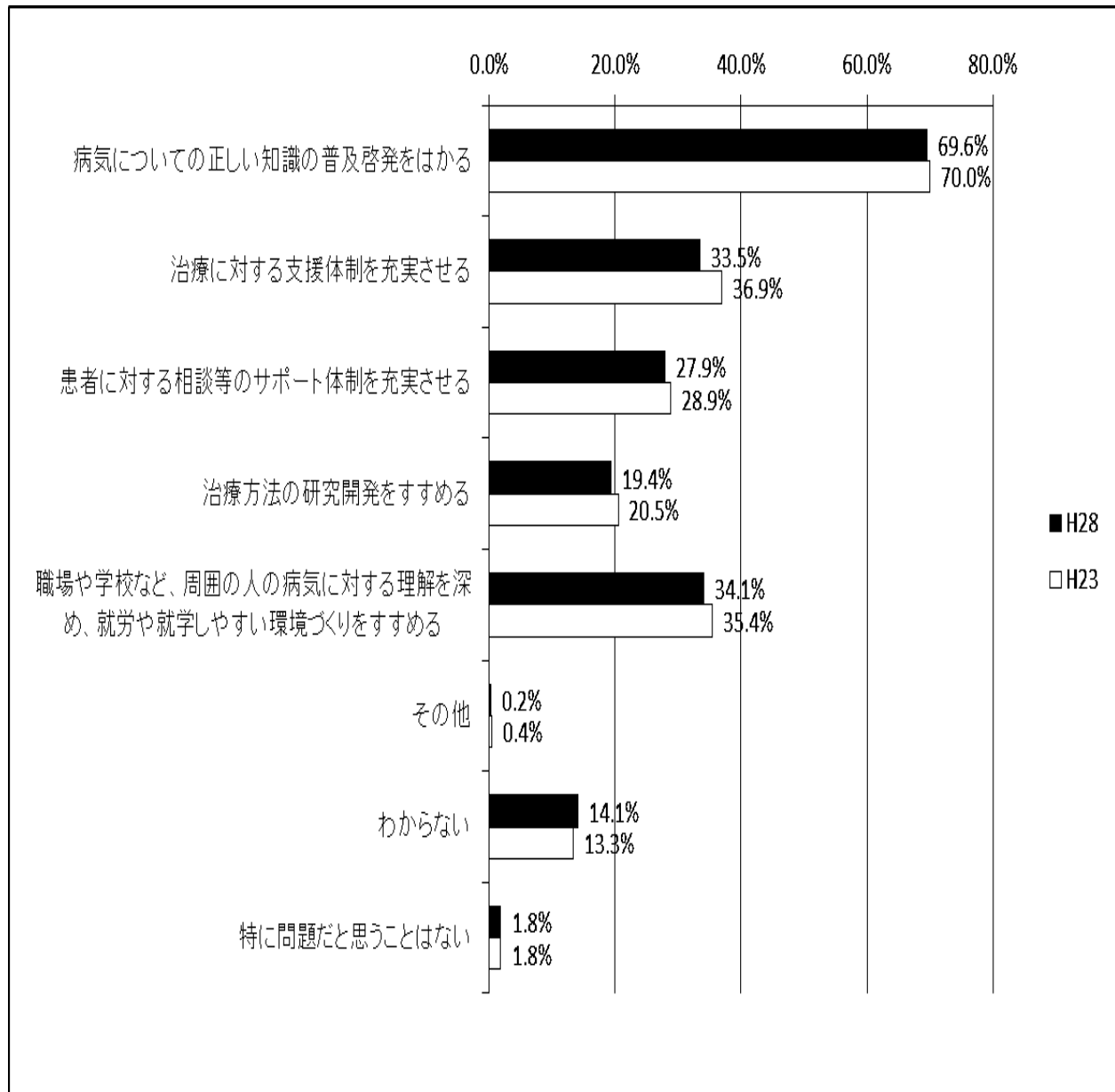
1. エイズ感染者等に関する人権上の問題

問 29 エイズの原因ウイルス（HIV）感染者及び肝炎ウイルス感染者等の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。（〇は3つまで）
 （総数 1246 人）



2. エイズ感染者等の人権を守るために必要なこと

問 30 エイズの原因ウイルス（HIV）感染者等及び肝炎ウイルス感染者等の人権を守るためには特にどのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで） （総数 1246 人）

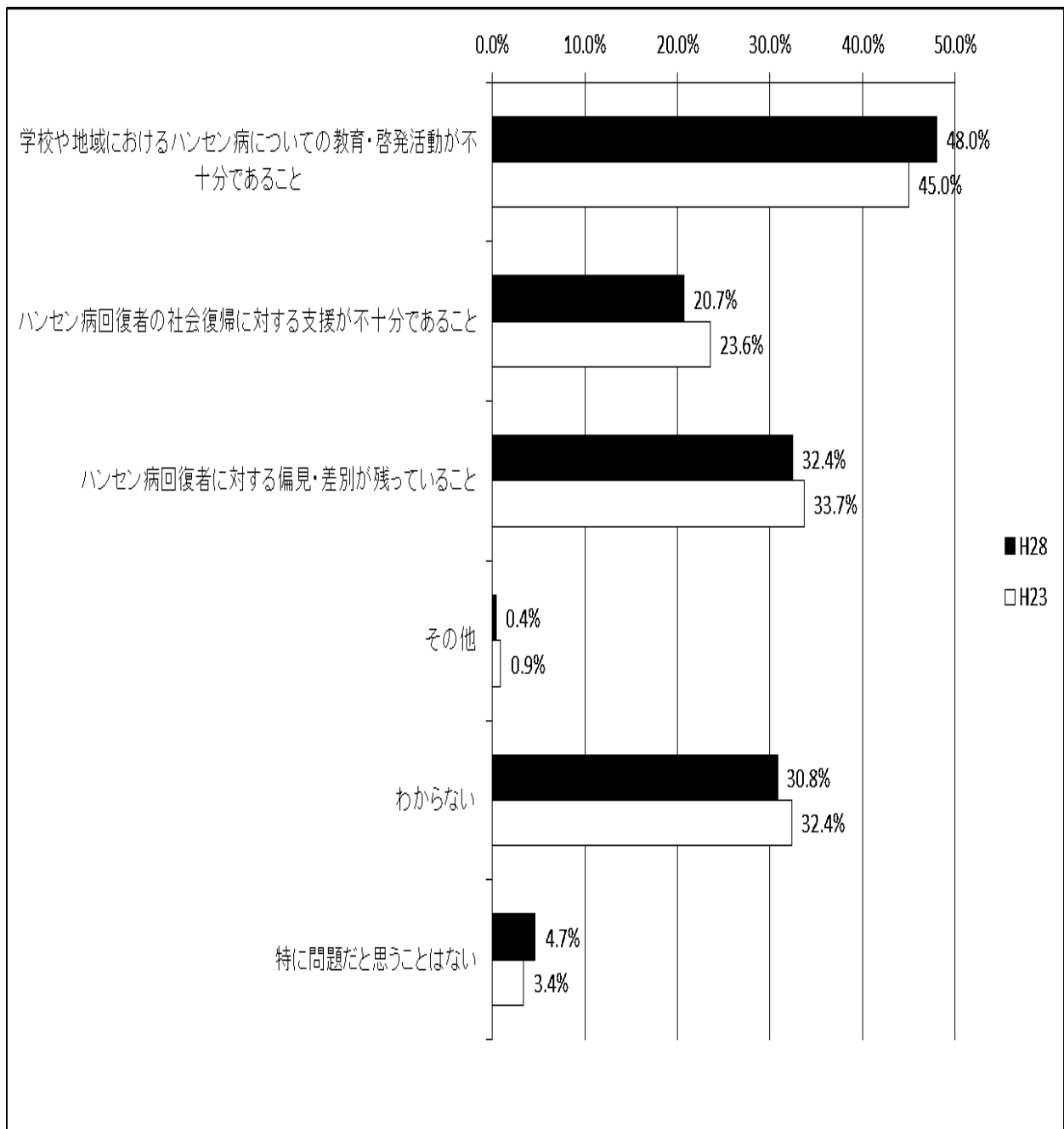


3. ハンセン病回復者に関する人権上の問題

問 31 ハンセン病回復者の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。

(○は2つまで)

(総数 1246 人)



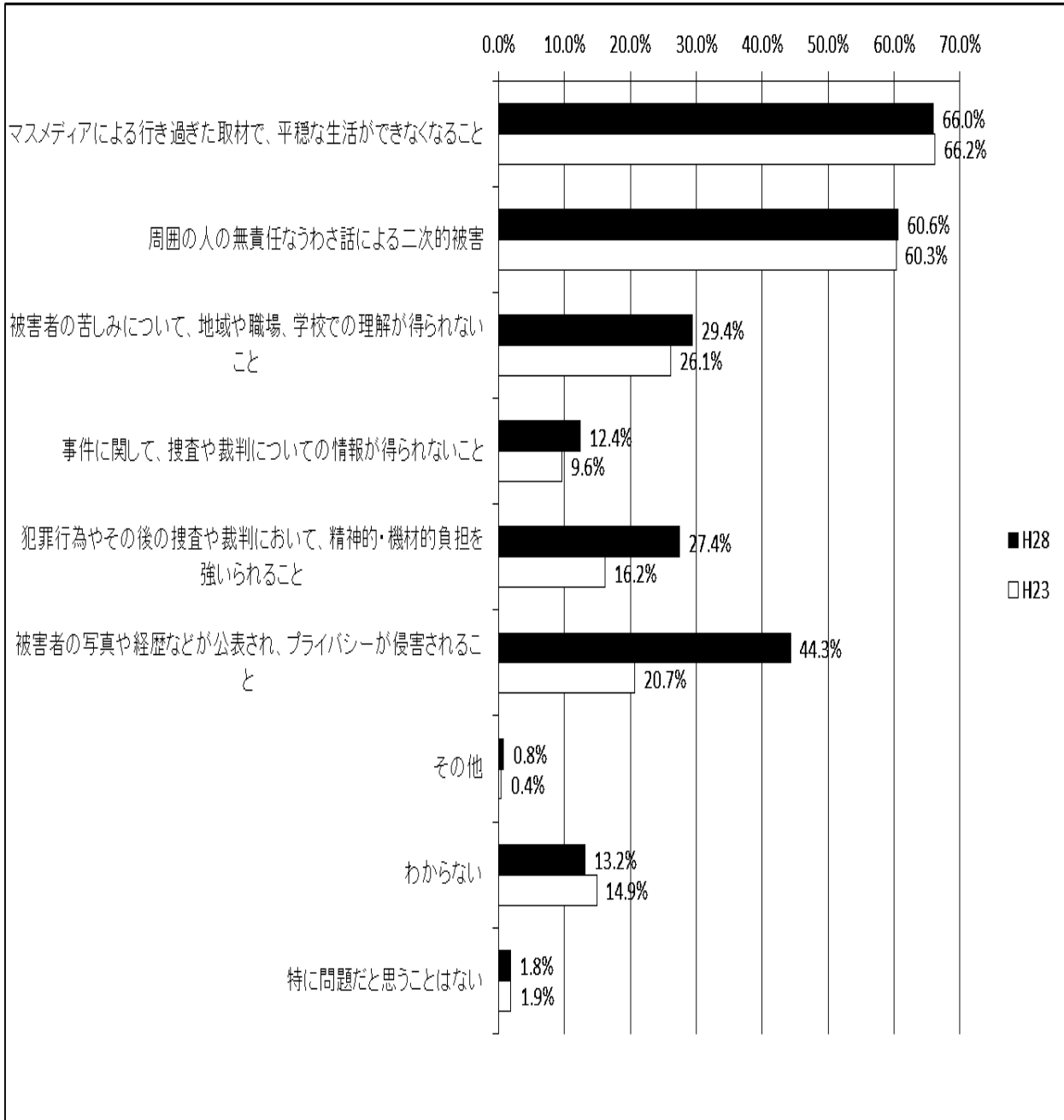
IX. 犯罪被害者とその家族の人権について

1. 犯罪被害者とその家族に関する人権上の問題

問 32 犯罪被害者とその家族の人権について、どのようなことが問題だと思いますか。

(○はいくつでも)

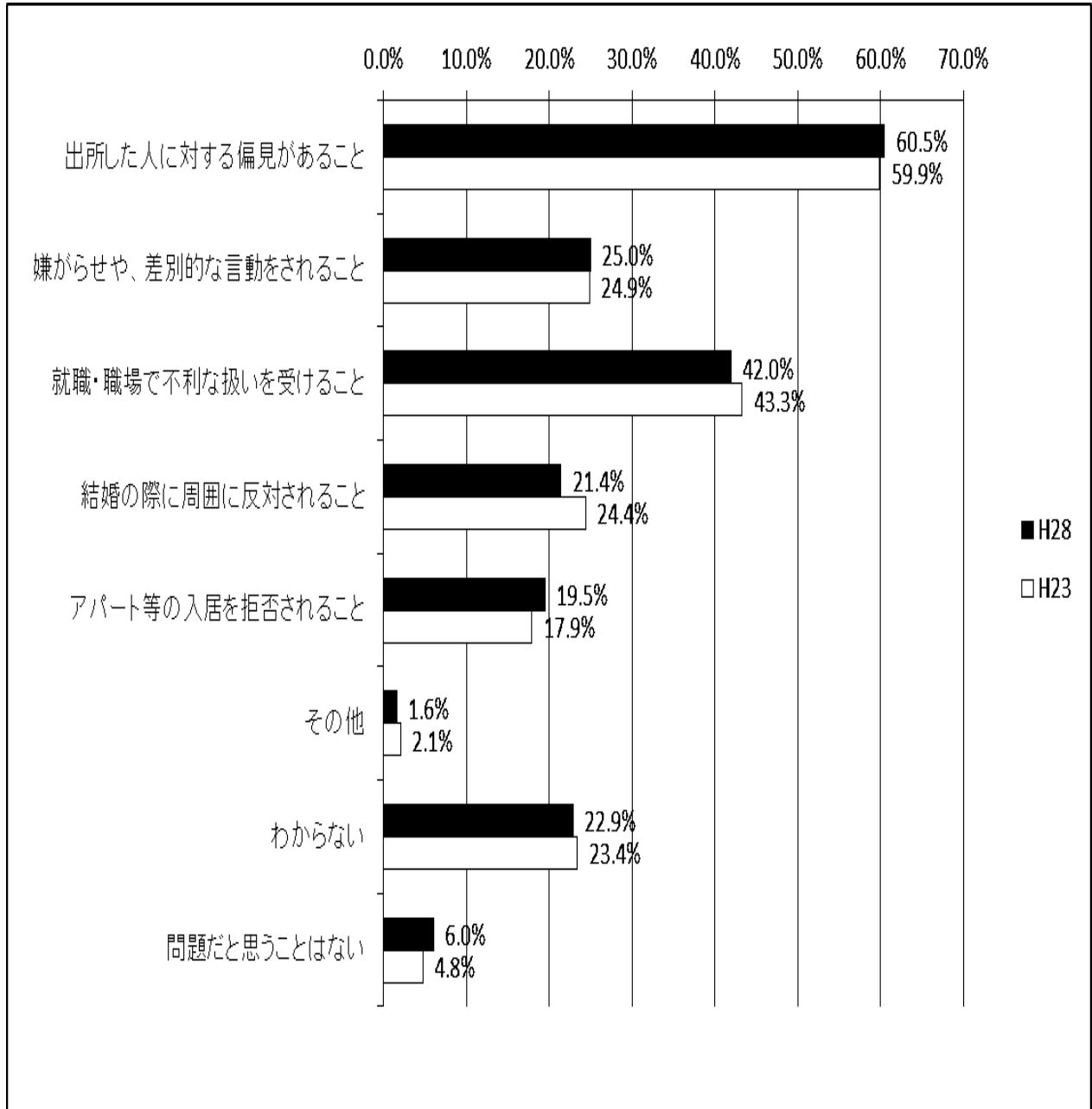
(総数 1246 人)



X. 刑を終えて出所した人の人権について

1. 刑を終えて出所した人に関する人権上の問題

問 33 刑を終えて出所し、立ち直ろうとする人の人権について、どのようなことが問題だと思いますか。(〇はいくつでも) (総数 1246 人)



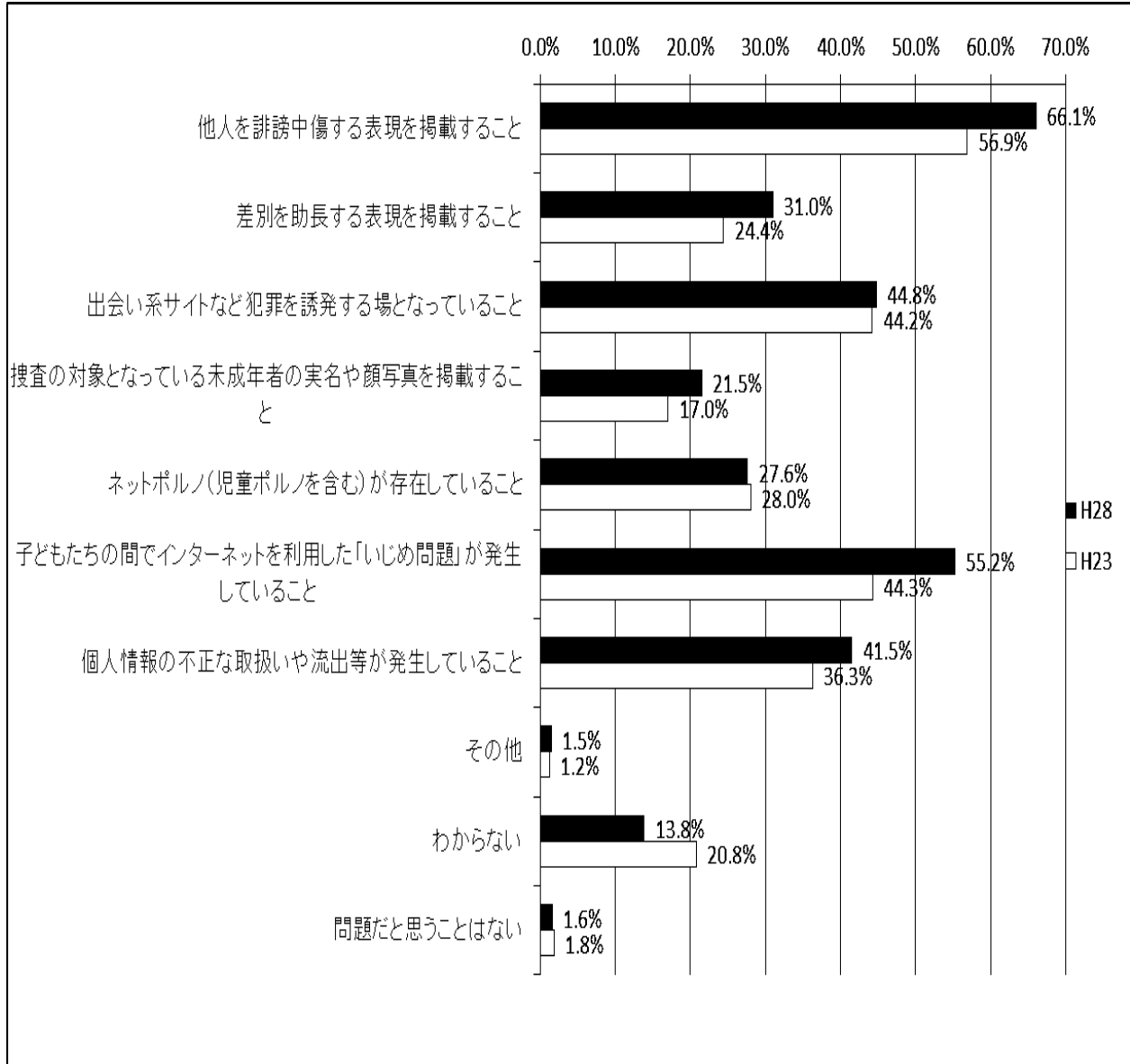
XI. インターネットによる人権侵害について

1. インターネットによる人権侵害に関する人権上の問題

問 34 インターネットによる人権侵害について、どのようなことが問題だと思えますか。

(○はいくつでも)

(総数 1246 人)



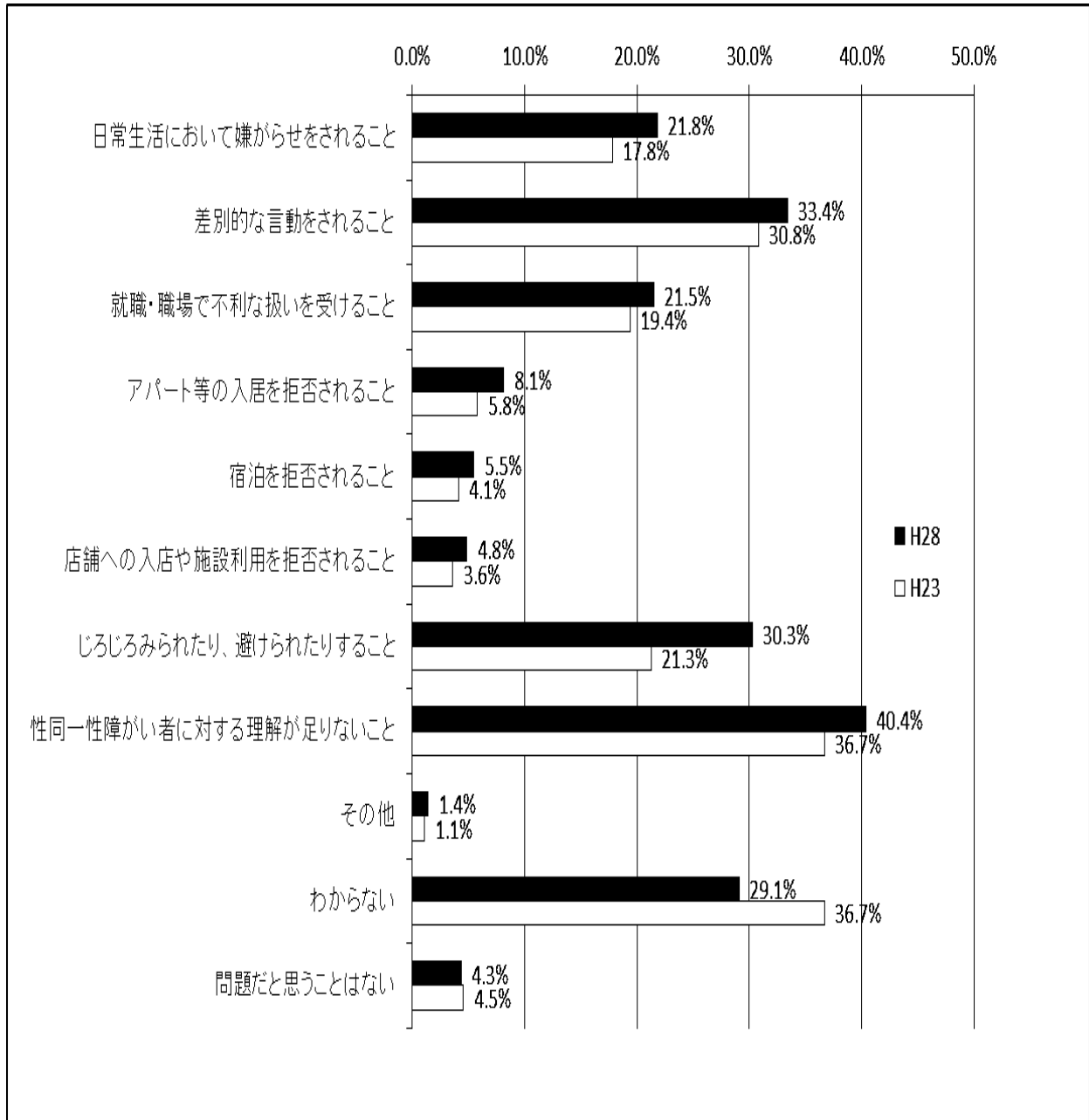
XII. 性同一性障がい者の人権について

1. 性同一性障がい者に関する人権上の問題

問 35 性同一性障がい者の人権について、どのようなことが問題だと思えますか。

(○はいくつでも)

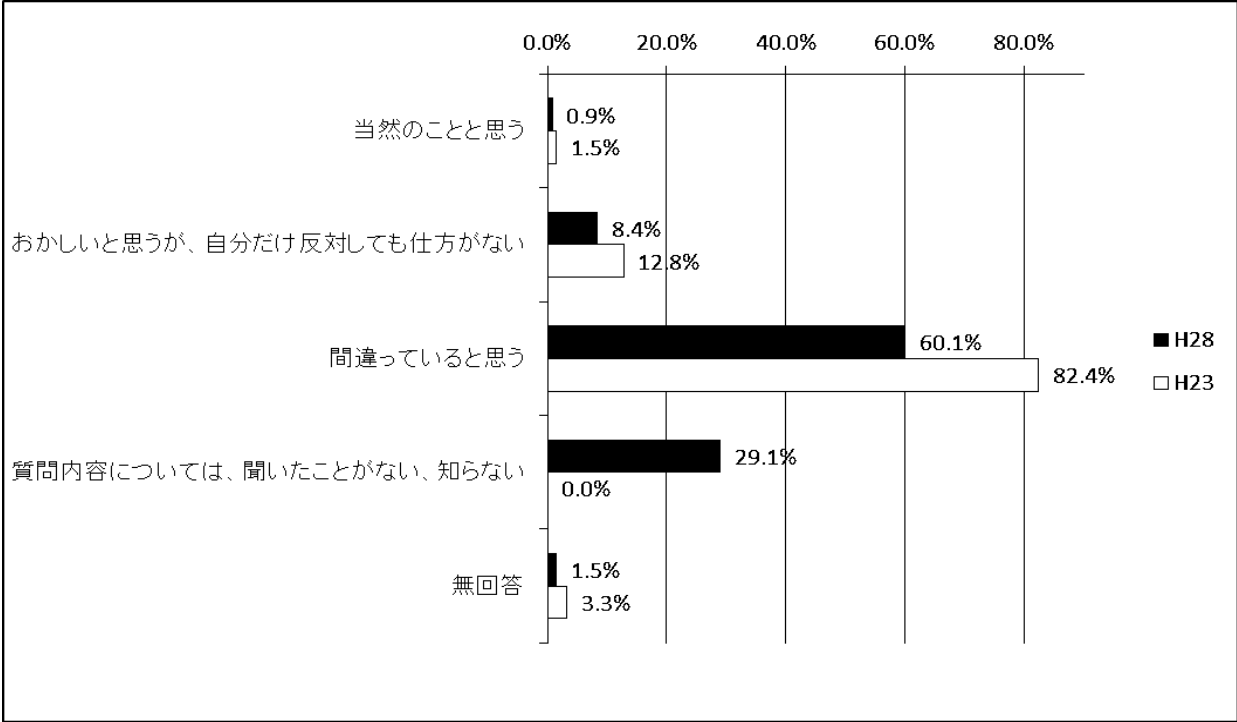
(総数 1246 人)



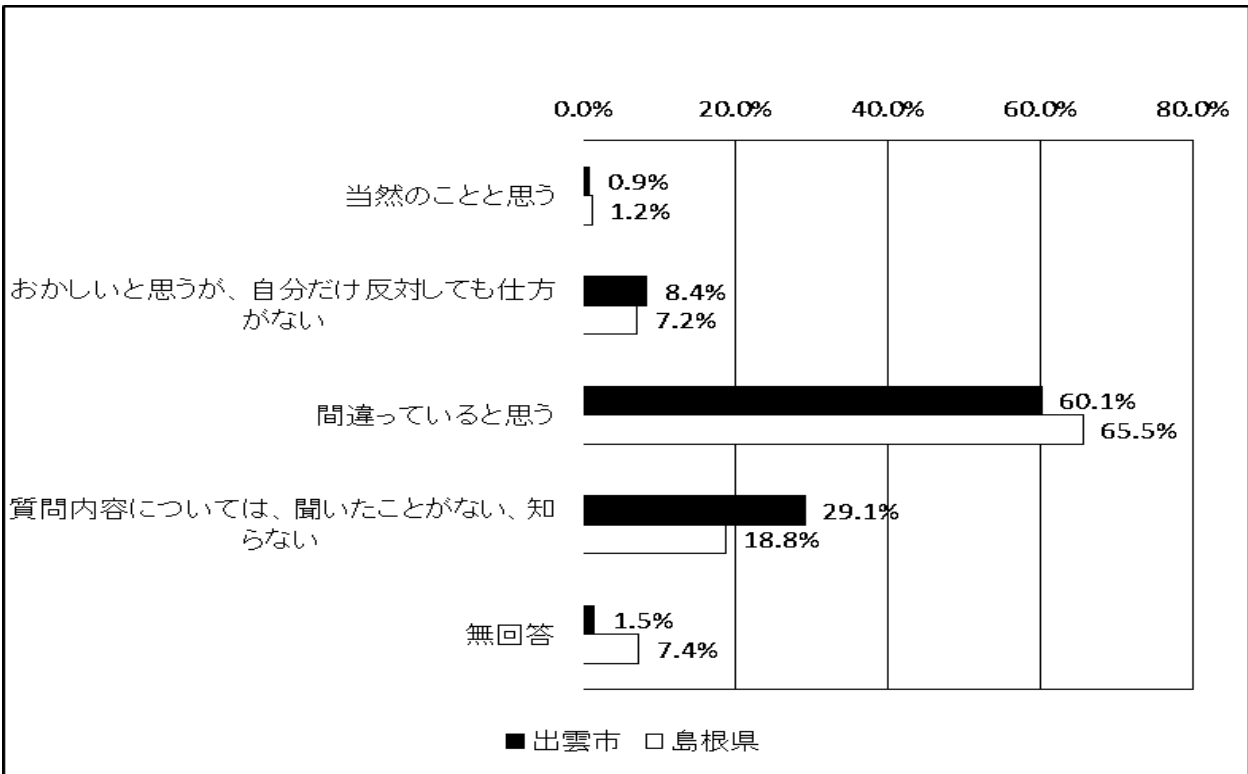
XIII. 風習・習慣に関する意識

1. 「ひのえうま」と結婚

問 36 「ひのえうま」の生まれということで結婚をいやがることについてどう思いますか。
 (〇は1つ) (総数 1246 人)



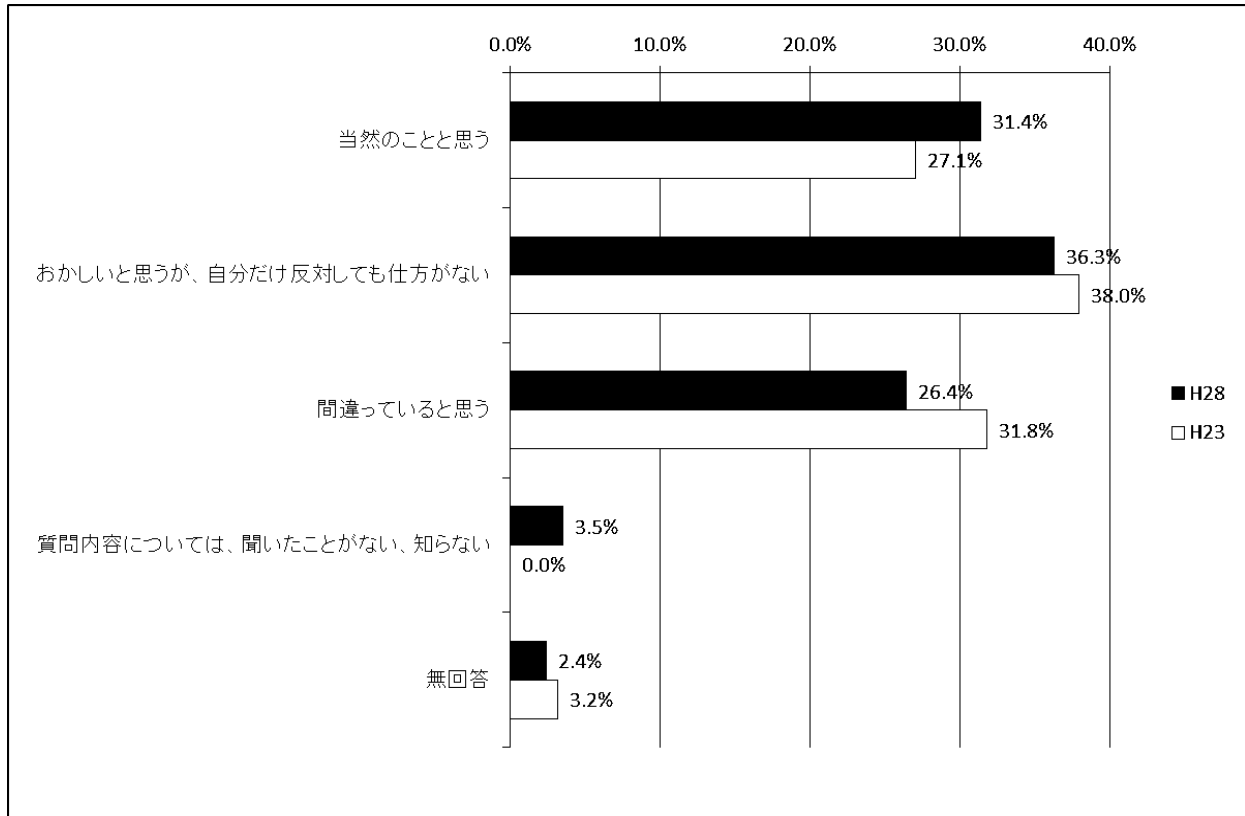
島根県調査(H28)との比較



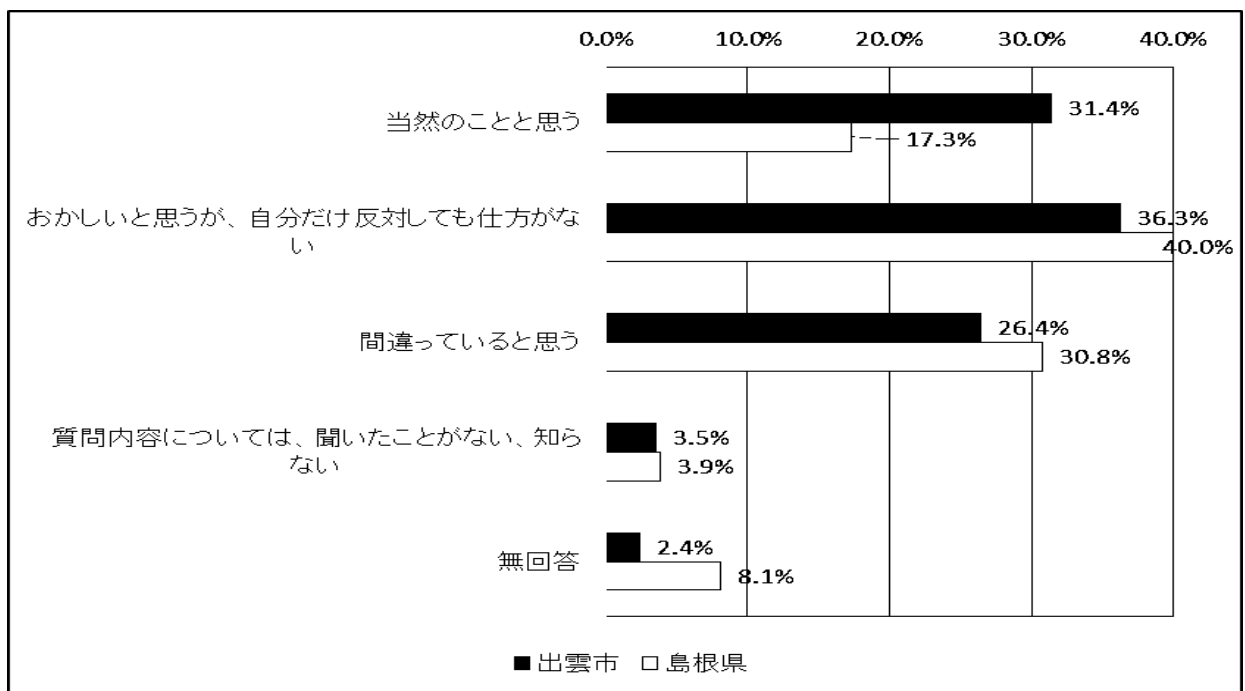
2. 「大安」と結婚式

問 37 結婚式は「大安」の日を選んで行う風習についてどう思いますか。(○は1つ)

(総数 1246 人)

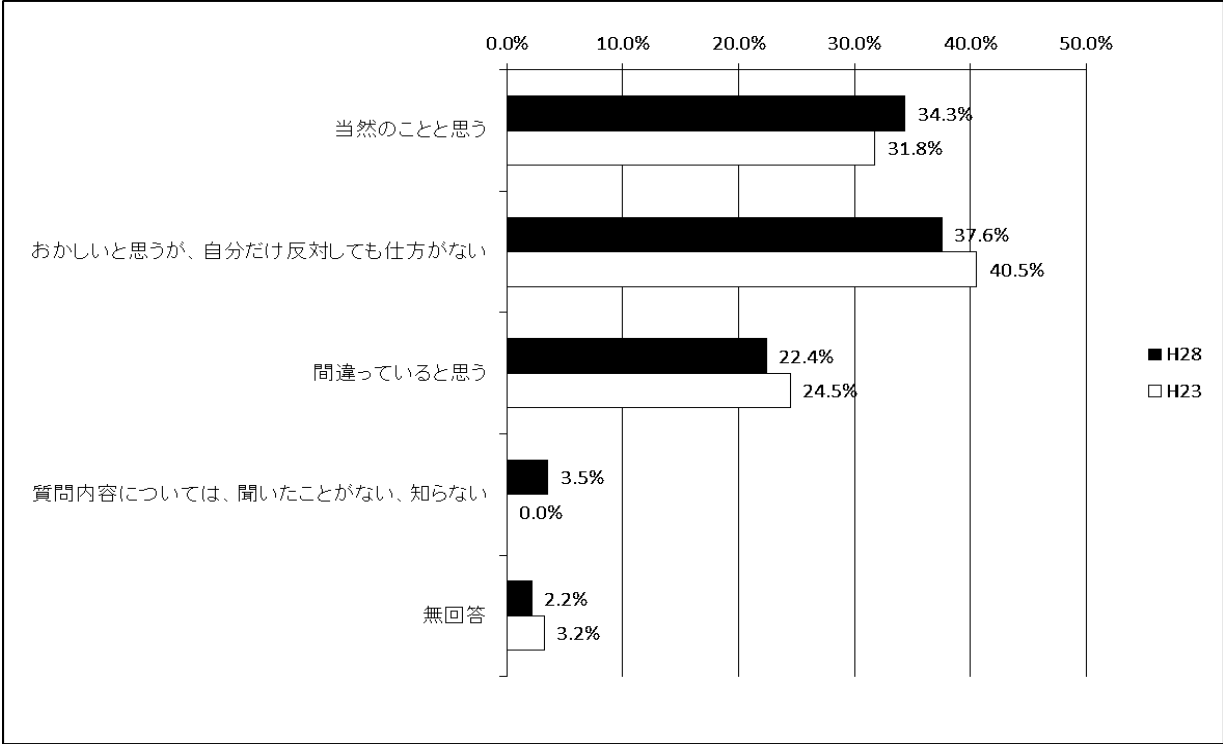


島根県調査(H28)との比較

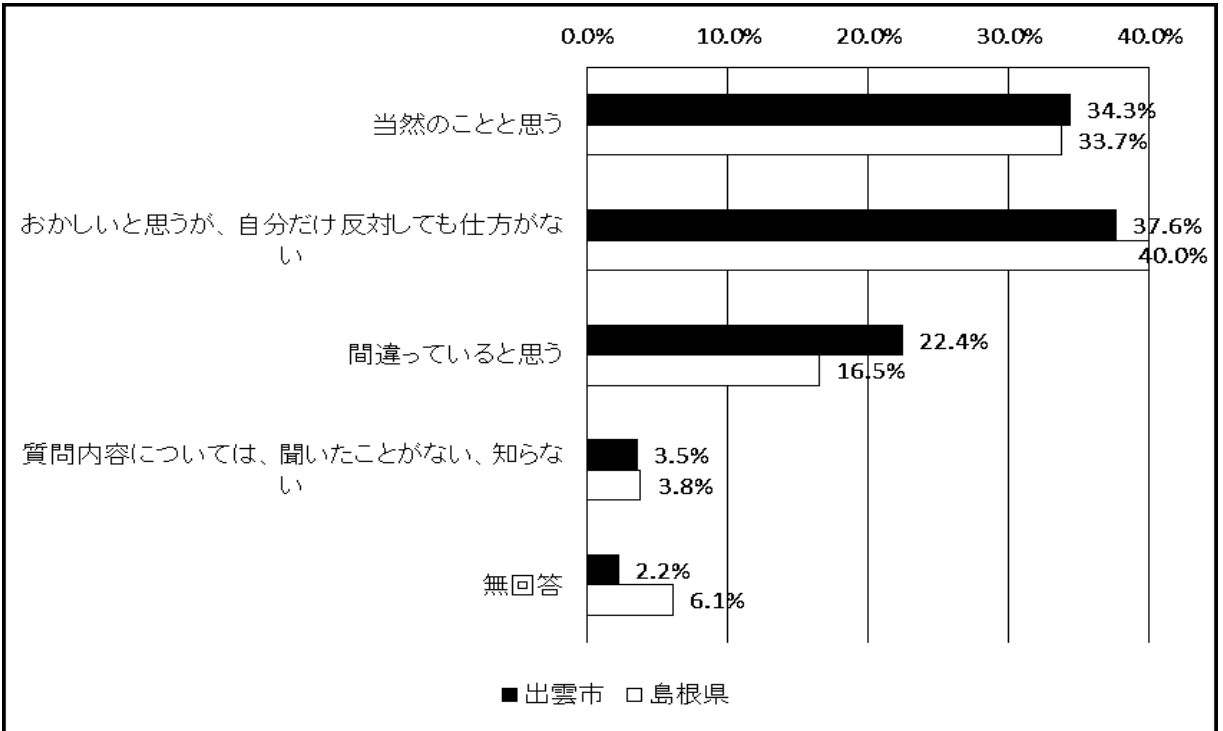


3. 「友引」と葬式

問 38 葬式は「友引」の日を避けるという風習についてどう思いますか。 (○は1つ)
(総数 1246 人)



島根県調査(H28)との比較

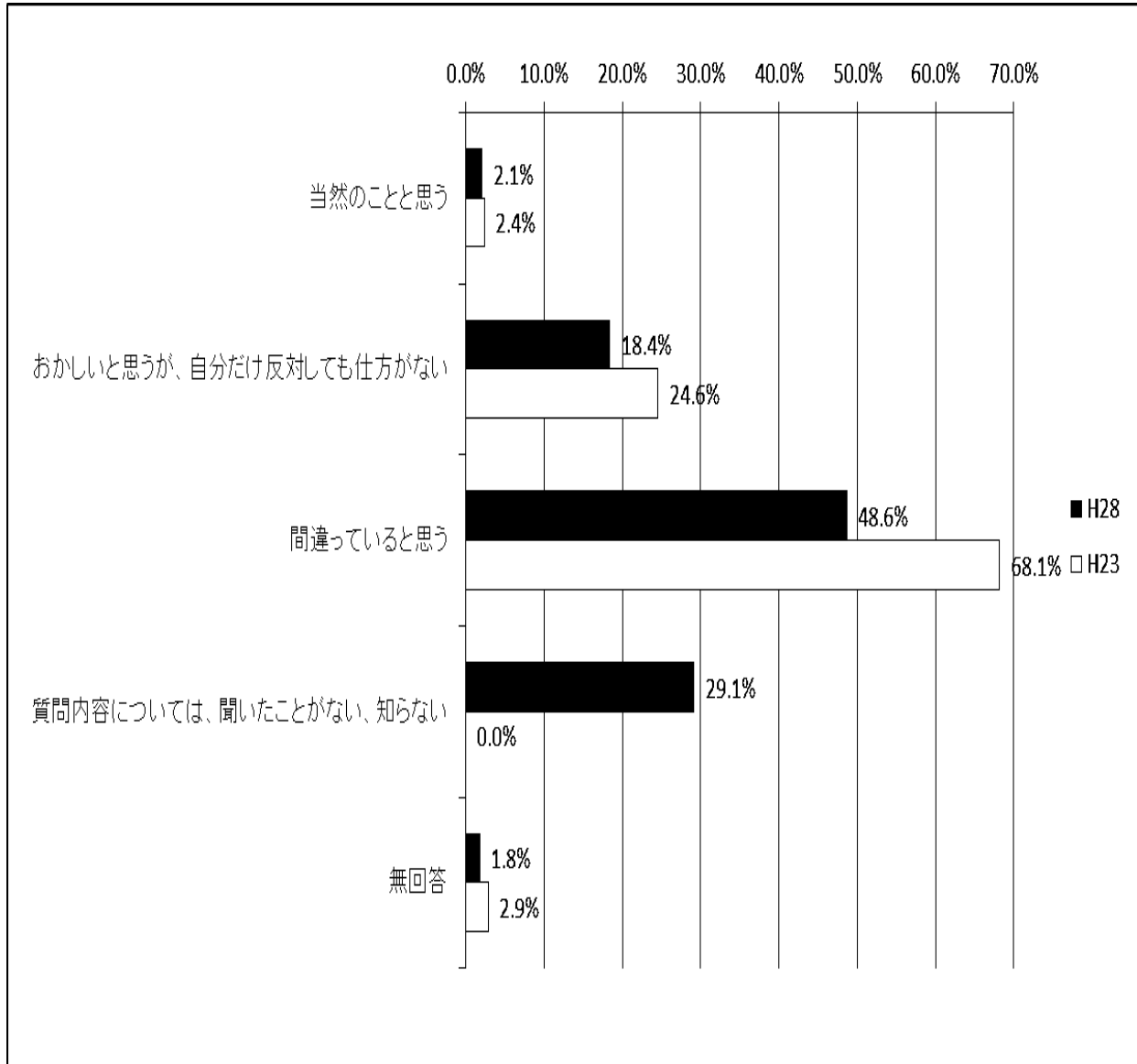


4. 「きつねもち」と結婚

問 39 「きつねもち」の家という理由で結婚に反対することについてどう思いますか。

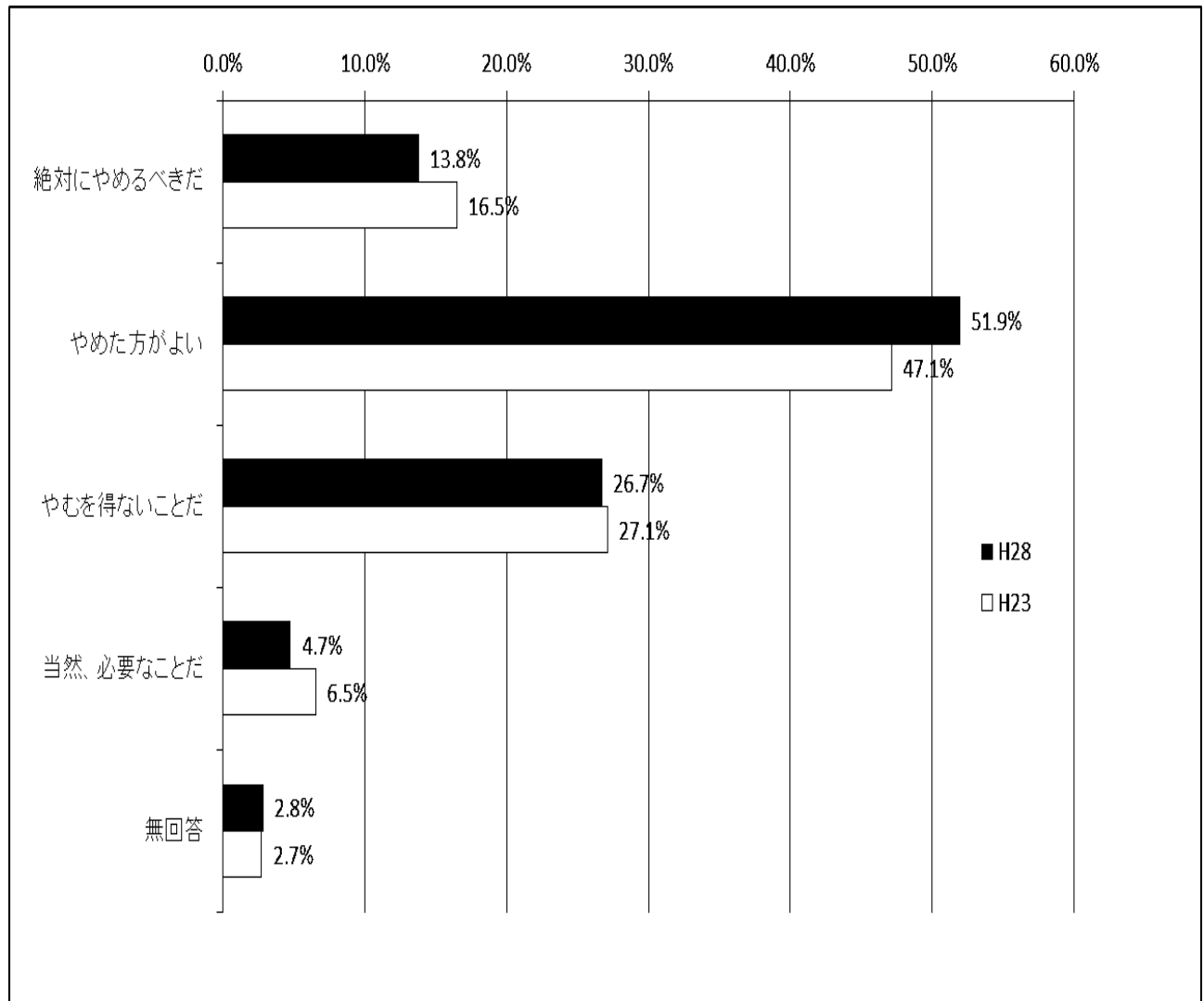
(○は1つ)

(総数 1246 人)



5. 結婚、就職と「身元調査」

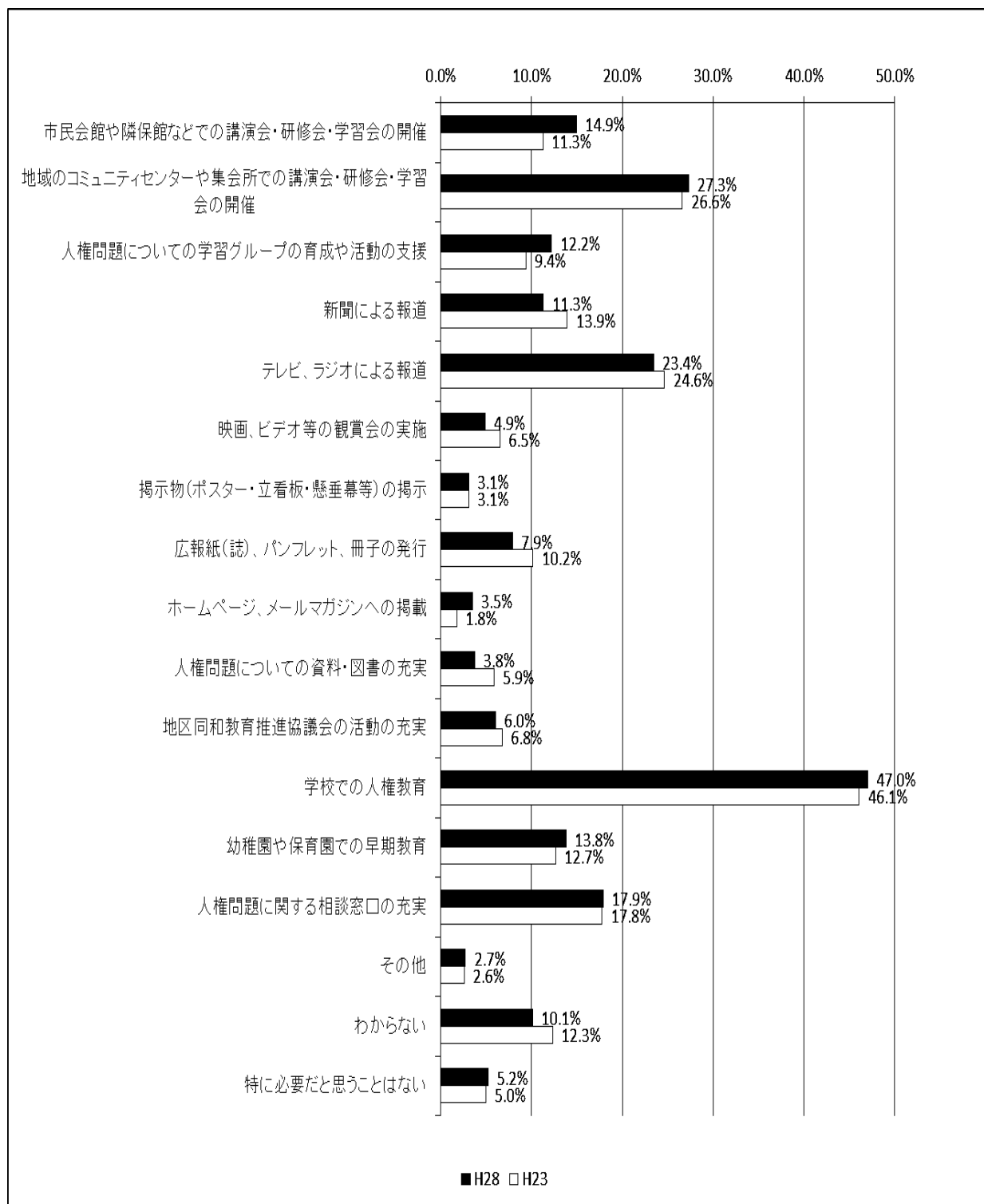
問 40 あなたは結婚や就職のときに、その相手方などの身元調査をすることについて、どのように考えますか。(〇は1つ) (総数 1246 人)



XIV. 人権が尊重される社会に向けての取組みについて

1. 人権が尊重される社会に向けた行政の取組み

問 41 人権が尊重される社会を実現するために、行政の施策として、特にどのような取組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで) (総数 1246 人)



2. 人権尊重のための学校教育

問 41 人権を尊重する心や態度を育むために、学校において、特にどのような教育が必要だと思いますか。(〇は3つまで) (総数 1246 人)

